	~ -		十尺于	<i>1</i> 7	**	П		1,	`	从一	17) 7	*	13/										#H/ /\
事務	事業	Ě名	理科大交流	によ	る人を	確保	・市	内定着	促進	事業					事業期間	平成	23	~		年度	整理番	号 (5020126
担:	当部	署	産業経済部			商	工課				工業・	産業	振興係	: 1	作成担当:	者名	小	平	昌	紀	連絡第	Ē	432
	_		· ·-				_	政施	策		第4章 第6節				やすく、	訪れ	てみた	:い緑	のまち	づく	IJ		
			プランに 位置づけ	有	政策	策 体	系	細施			A10 - 44-		成と確		すの育成								
	05 1	, 0	位				-	事務事							る人材	海保 •	市内定	善促.	准重量	È			
計	予	算	事業名					7-1217	<u> </u>		NAV IN 1 AV		11///	~ mil c	- O) (1)		コード	_	款		項		事業
			7 717 11	諏記	東京	理科ブ	学の	学生	が地元	で業へ	就職し	してじ	ただけ	けるよう	、理科大								る。
画	事系	務事 ౣౣ∊≉	業の概要 ^{っかりやすく)}																				
			と 背 景うして)	連抄	した	雇用文	対策 導	業を行	うつて	こいるか					内定着が 進が必要				16.5	定着促	進を図る	らため	理科大と
	目	対	受益者	諏記	東京	理科プ	学学	≜生、ī	市内 導	業者													
Р		象	対象 (直接働きかける)	諏訪	東京	理科力	学学	ė生、ī	市内署	業者													
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	卒第	後、	地元企	業に	就職。	ይ ぴቨ	内定制	の促進	Ė											
L						、就職を図る		(ダン)	ス、1	(ンター	-ンシッ	ソプ等	を通じ	て、優	秀な学生	を企業	に紹力	介し企	:業と	学生と	のマッラ	Fング	を向上さ
A			・ 方 法 やって)		~-																		
			 行政活動の	結果	からこ	こくり	だす	ものは	:何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・討	算式	・目標	標値設	定の考	きえ方な	ど最	終目標値
N	評	活動	理科大諏訪	地域	内就職	战者数				諏訪地	域内就	職者	数	٨	就職者	数							70
	価	41-	就職ガイダ	ンス	開催数	k				就職力	「イダン	ノス開	催数	<u> </u>	開催数								5
)	標の																						
	作	成	成果	٠	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	• 目標	標値設	定の考	きえ方な	ど最	終目標値
	成	果指	理科大諏訪	地域	内就職	战者数				諏訪地	域内就	職者	数	人	就職者	数							70
		12E	就職ガイダ	ンス	参加者	数				理科大	生参加	1者数	Į.	人	参加者	数(延/	\$)						30

	Į	頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	-	事業費等	(a)	円					
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財		円					
	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正規職	員	人					
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人					
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
		市民一人当たりのコス		円	_		_	_	_
			目標	人	80	70	70	70	70
		諏訪地域内就職者数	実績		29	35	26	27	35
	活		達成率	%	36. 25	50. 00	37. 14	38. 57	50. 00
	動		目標				5	5	5
	動指	就職ガイダンス開催数	実績	0/			5	5	5
D	標		達成率	%	_	-	100. 00	100. 00	100. 00
			目標実績	_					
		_	達成率	%	_	_	_	_	_
			目標	90	80	70	70	70	70
0	成	諏訪地域内就職者数	実績	人	29	35	26	27	35
	果	 	達成率	%	36. 25	50, 00	37. 14	38. 57	50. 00
	未 指		目標	70	JU. 20	50.00	07.14	30. 37	30.00
$\overline{}$	招標	理科大生参加者数	実績	人				33	30
	尔	イコスエッルコ以	達成率	%	_	_	_	110.00	100.00
		新たに就職ガイダンス開						110.00	100.00
	備	mp / 二 (一 mp mp / 2 * 1 * / 2 * / mp	1 IE 94 C	. ax 17 18	マイコロア こひコ ブング	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	BWCD1/.00		
	老								

		美名 理科			る人材			看促進		عالم علي عالم	Lee con	_		事業期間						整理番号	† 05	020126
担	当 部	者	経済部)		商コ	上誅			業・産業	振興1	兼	1	作成担当	百百名	小	平	Ä	紀	連絡先		432
	期			E	標						実	績							課	題		
四	第 1	- 事業展	場の方法	法等の	の給討					シップ促進			開始							協議会等関		関と連
Kri	期	**************************************	M30273 X	<u> </u>	71501			- <u>ş</u>	沈職説明 :	会開催(5月	₹-6月	1)				携し、	事業展	開等の	検討が	が必要であ	5る。 	
半	第 2 期	•事業展	開の方法	法等0	の検討			- 京	忧職説明 :	会開催(8月	∃)					・大学 携し、	、茅野ī 事業展	市労務 開等σ	対策協	協議会等関 が必要でも	係機 ある。	男と連
期ご	第 3 期	•事業展	開の方法	法等0	の検討											1 2 2 7 7				協議会等関 が必要であ		男と連
٢	第 4 期	-事業展	開の方法	法等の	の検討			- <u>;</u>	忧職説明 :	会開催(3月	∄)									協議会等関 D検討が必		
Ø									Į	事中		評	佃	i								
0,										環境の変化				広 :	充		2	2)	(5	7	
管		ターンシ 市内定住								大生の就 ある。	職 往	é	0)	見状維持	诗		(3)	(り	9	
											0		方 向	宿	小		4	D	(8	3	1	
理									・改善策					木 廃 」	止 (1						
~		ンターンシ Iけた新た							の就職及	び市内定位	佳	9				皆	減に	宿	小	現状維持	拡	
		1.77249[72			7 97-14	<u> </u>	CH17 00				性	ŧ						-		の方		
	ī	平価年度		<u>11</u>	纤度		1															
	袳	. 点	3	妥	当		性		有	効 '	性			効	率	1	生	糸	総 合	評 個	五 判	定
評	評価	の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3 4	判	定	1	2	3	4	判定					
HT	チ	エック					4				4	-					4			Α		
価	課		議会及	び関	係部署	と連	隽し、市	内企業	をPRし!	するため. 就職に 繋								記号の	と B:事	画どおり が適当 業の進め 業規模・「	方に改	善が必要
<u> </u>	-																	定義	の D:事	・未成侯 1)見直しが, :業の統合、 ・が必要	必要	
С	題																		年度総	かめ安 合評価判 シート整理		Α
н		1		施	i	策	F	Œ	価	前			糸		施	1	策	評		一 「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	後	
	総	理科大生	の中に	は、	市内に	どの。	ような企	業が存	生するは	知らない!	学生	理		•								
Е		もいるのることに	で、理	科大	を通じ	て、	学生向け	の市内は	企業をP	R等を実	施す	も	いるの	で、理	科大を	通じて	、学生	向け	の市内	企業を知企業への	っても	らう新
С	合	⊘ ∟∠ -	. .	u) PA	正来个	・リン派ルギ	以、 。	で図る 。	•			図.		在聊先 。	、 作用 前	1290		- & 9.	, ili Ma	正条への	亦儿叫戦 、	たほど
	評																					
K	価																					
$\overline{}$		前年	度 改	革	· 改	善第	きの実	施状	況			前	年 度	細施領	6 評 (価にお	ける	今後	の方	向性		
改革	今	វ	細	施	į	策	部	Į.	価	前			斜	Đ	施	1	策	評		価	後	
•	後		拡	充			2	(5)	7		月		拡 3	仓							
改善	の	果	現状維	持			3	6) <u> </u>	9		月 0		現状維持	寺					レ		
声の	方	方	縮	小			4	8)	10		7		縮 /	J۱							
の方向		向 性	休廃	止	1							作性		木 廃 」	Ŀ							
向性	向 性	_		_	皆	減	縮	小 耳	見状維持	拡	大					皆	減	縮	小	現状維持	拡	大
Â	改	理科大、	労務対		議会等	コース 関係	機関と連	携し、		向性 の企業訪		理		労務対		会等関	1 10 10 1000 10	と連	隽し、	の 方 学生向け		訪問事
C	革	て、理科	ターン 大生が	/シッ 情内	ブ促進企業へ	事業での就理	を実施し 載、定住			る機会を くりを目		業、	、イン 理科	ターン [・] 大生が	シップ 市内で	ア促進事	業を引 就職.	を施して 定住に	市内の ができ	企業を知 るまちづ	る機会	を設け 日指
I	·	す。										ず。					2.2.2		_	23.2		
0	改 善																					
) N	苦策																					
		压左口:		-bac	#F==	1 🗁	B 45	=a; /=r	ま / +	z					_						<i>I</i> +	£l.
取	冷評 "	価年月日	1 1	水(30:	年5月3	1 🗎 👚	取 終	武士 1曲	責任者	3				商工課	攵					. 田	佳	秋

事系	务事業	美名	労務対策共同	司事業(関係機	関・企業との連	携強化	事業)			事業期間	平成		~	年度	整理番号	05020218
担	当部	署	產業経済部	商	j工課		商業労政	女係		作成担当	者名	4	山	重喜	連絡先	434
	市おり	民 ナる	プランに 位置づけ	有政策体	政策 施策 細施策 事務事業	06	第6節 労働力研	住みやす 雇用の確 催保と雇用 ・企業と	保と人 対策	オの育成	. 訪れ [·]	てみた	い緑の	りまちづく	Ŋ	
計	予	質	事業名	就労支援事業	9 300 9 111	VI	DO DK DAG D	1 EXC	V) Æ 175 1	メルチ末	슷計:	コード	001	款 05 :	項 01 目	01 事業 03
画	事	答事	「業の概要 hhかりやすく)	企業の存続・発	・ ・展、活性化には ど労務対策につい						重要7	なカギ	を握る	6経営戦略	となる。大	学訪問や労
			と背景うして)	企業の存続・発 たことから、 開していく必!	腰、活性化には ますます多様化、 要がある。	若手を 広域化	含め人 ^材 と、そし [*]	確保は必 てめまぐる	要不可なしく進	マなもので 歩する <mark>情</mark>	であり、 報化に	・重要 対応し	なカ ^ュ ノ、時	ドを握る経り 勢に合った	営戦略とな :求人活動を	る。こうし :積極的に展
^	目	対	受益者		職者、茅野市労 職者、茅野市労											
P		象	対象 (直接働きかける)													
	的	(どん	意図 のな状態にしたいか)		策を茅野市労務対				ることに	より関係	機関と	の連携	きがと	れ、効果的	な雇用対策	が図れる。
L A			・ 方 法 やって)	・大学訪問、 ・労務対策セ	策協議会と共同 ∫ 資料提供(企業! ミナーの開催(Ⅰ 迎大会の事業企順	PR及び ごジネス	プ合同就 スマナー	職説明会問 研修、人事	見知)(耳・労務	100, 000F セミナー	円) ·) (10	00, 000	円)			
			行政活動の組	結果からつくり	だすものは何?	指	標	名 称	単 位	算出方	法・計	算式	目標	値設定のお	きえ方など	最終目標値
N	評	活動	大学訪問に	よる企業PR等		校数		料提供延	校							600
	価 指	指標	労務対策の	共同PR		労働も数	2ミナー	系 内通知	社							50
<u> </u>	標 の 作	_	成果	· 効 果	は何?	指	標 :	 名 称	単位	算出方	法・計	算式 :	・目標	値設定のネ	きえ方など	最終目標値
	成	成果指	企業への就理	.,,			ディダン:		人	3, 2, 3						500
		標	労務対策セ	ミナーの開催		労働も	ミナー	参加者数	人							100

	Į	頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	=		(a)	円	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	田					
		その他特定財		I					
444	訳	一 般 財	源	円	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	<u> </u>					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	7		数						
			(b)						
	È		(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	H	E 00	E 00	E 00	F 00	7.00
H		市民一人当たりのコス		円	5. 00 600	5. 00 600	5. 00 600	5. 00 600	7. 00 600
		大学等への資料提供延	<u>目標</u> 実績	校	600	600	600	600	600
$\overline{}$		校数	達成率	%	100, 00	100, 00	100.00	100, 00	100, 00
	活		目標		50	50	50	50	50
	動	労働セミナー案内通知	実績	社	50	50	50	50	50
		数	達成率	%	100, 00	100, 00	100, 00	100.00	100, 00
D	標		目標	70	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
o		A 484 12 4 44 A44 44 -	目標		500	500	500	500	500
	אנו.	企業ガイダンス等参加	実績	人	503	426	460	444	500
	*	者数	達成率	%	100. 60	85. 20	92. 00	88. 80	100.00
	指		目標	人	100	100	100	100	100
	標	労働セミナー参加者数	実績	^	67	118	116	70	100
			達成率	%	67. 00	118. 00	116.00	70.00	100.00
	備								
	考								

		業名 労務			莱(関			とのi							業期間			~	_	年月		理番号		020218
担	当部	著 産業	経済	iji.		商	C課			商業労	政係			11	成担当	4者名	牛	Щ		-	į	車絡先		434
	期			E	目 標						美	€ 絹	Ę							課	題			
四	第 1 期	茅野市労	務対			携を図	り事業等	実施	・諏訪地 1回(参 2回(参 ・ビジネ)	加企業加企業	107社(92社(う	うちit ち市i	5内 内2·	<mark>26社</mark>) 4社)	学生9						, <u> </u>			
半期	第 2 期	茅野市労	務対	策協議	会と連	携を図	り事業等	定施	·諏訪地 3回(参		就職説 88社(う					名								
# n	第 3 期	茅野市党	務対策	策協議	会と連	携を図	り事業等	実施	·離転職 ·年末企 社) 学生 ·人事担	業研究 120名	会開催	参加	企	業63社		5内18								
٤	第 4 期	茅野市労	務対	策協議	会と連	携を図	り事業を	実施		加企業	就職説 110社(30社(う	うちず	吋	29社)	学生1	19名				協議会 が必要		隽し、学:	生への	DPRO
Ø										事	中	F	Ŧ	価										
0)	当年	丰度開始	後、約]6ヶ)	月が経	過し、	新たに	生じ <i>†</i>	た問題点	や環境	の変化	今	成	拉拉	. 3	充		(2		⑤		7	
												•	果	<u> </u>				i	•••••					
管												後	0	,	状維持	守		(3		6	レ	9	
												の	方	HUL	į /	j١		(4		8		10	
		新年	度の	実施計	画・-	予算要	求事項	(改	革・改割	手策)		方	向性			t C	D		•••••				ļ	
理		・続き茅野	市労利	多対策	協議会	を支援					的な事	7	11		· 15€ 1			. .			1	h 6# 14		
	業を	実施し、	人材確	保にす	みめる。							向			/	1	皆		縮	小		犬維持	拡	大
												性	_	/			⊐	ス	۲	投	(0	り方	向	性
		評価年度		N.	当年度		1																	
	衬			妥	当		<u></u> 性		有	効	性	:			効	率		生		総	合	評価	判	定
		の観点	1	2	3	4	判定	1	1 2	3	4	- 判定	?	1	2	3	4	判別	2	1/VCV		пт іш	ניד	Æ
評		エック	•			7	4	+ '		-	7	4	+	'			7	4	-			Α		
	_		生 の	も元企	業への	(調)	-	から	の就職を	あっせ	・んする		を	Q (+	か単が	に企	生 抽		,+	Α:	計画。	どおり事	業を記	隹めるこ
									労務対策										, li	記	とが	適当		
価	課	要がある) . • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	なみ し	事件理	u-	\T +	ے بلا	ナーを開	10年1 夕	. / "	34 -t-	1-4	目中の	133 AV ル	. 12 22 .	* 7 -7			-				善が必要 実施主体
		おもてな								ITE U 3	(W)	伤怕	-	削後の	理解で	· L »	**	, –,		定	の見ī	直しが必	要	
(題	・新入社	員歓	业大会	の参加	事業所	所数及び	参加	者数の増	加に努	める。								-	義 D:	サポリ計が		1个 ·):	廃止の検
С	Ĺ																			前年度	総合	評価判定	_	Α
																			Ē	前年度評·	価シー	ト整理番		1030322
н	総		細	施		策	ř	-	価		竹			細		施		策		評		<u> </u>	後	
Ε	形心	これから	の企	栗、茅り、引	野市の)産業で ・労務に	を担って	いく	人材を傩 連携し労	保する	ことは を里た													.とは重 .果たし
	合	ていく必								1337-134	Contro									役割は				, , , , , ,
С																								
IZ.	評																							
K	価																							
)		前年	度改	て 革	· 改	善角	きの実	施	状 況	実	施済	Ī	前右	年度系	田施第	き 評 値	丘にま	いける	今	後のこ	方向	性		
改	今	i	細	施	ī	策	ã	Ŧ	価	Ī	ij			細		施		策		評	ſ	5	後	
革		成	拡	充			2		⑤	(7)		成	拉	5 3	ž								
改	後	果			ļ		į <u>.</u>						果											
改善	の		現状紀	性1寸			3			, <u>(</u> 9			の士		状維	ī						ν		
Ø	方	方 向	縮	小			4		8	Œ)		方向	紑	i /	١,								
の方向	向	性	休 廃	止	1								性	仂	廃」	Ł								
性	性	_		_	皆	減	縮	小	現状維	持 打	広っ	t					皆	減	縮	小	現丬	犬維持	拡	大
^					<u></u>				\		性		_									方		
A	改	人材確保 め、事業				協議:	まと連携	ال. ا	優秀な人	材の採	用につ				ニ向け、 ŧ進を		対策協	議会	と連	携し、	優秀	な人材の)採用	につと
CT	革	₩/V Y	· 1年7年,	C 124 0	•							ľ	•	于木川	EAE C	≃ 70 0 o								
i	• ¬L																							
0	改																							
N	善策																							
	來																		_					
			3 2	_	年5月3		- /b	== /-	五 責 任	_±∠				-	商工課						E	H	佳	秋

事系	务事為	Ě名	中高年齡者	就職	確保事	業									事業期間	引 平成	<u> </u>	~		年度	整理	番号	05020219
担	当部	署	産業経済部			Ē	打工課				商業党	政係			作成担当	4者名	牛	Щ	重	喜	連絡	先	434
			プランに 位置づけ	有	政分	策 体	系	政 施 細 施 事務		06	第6節	確保		保と人 対策	きやすく 材の育成		てみた	とい縁	のます	ちづく	ŋ		
計	予	質	事業名	就学	支援	車業		サ 1カコ	尹木	UZ.	TINT	- Hr 4H	AND PER VIE	ハデホ		슺計	1	: 00	款	05	項 01	日	01 事業 03
画			· 業の概要	交と市に対	要綱となる。	を「 業所 奨励	雇用(を有る 金を3	ナる事 を付し	業主が ている	市内! 。ま/	こ居住っ	する中 年 度 か	高年	令者 (4	5歳以上6	音及び 5歳未	子育で満)を	中の3 1年を	対性を	雇用して雇用	た場合	に交	付すること :、事業主 Dち、奨励
			と背景うして)	本人	いた働	く意	欲や前	も力が?	あって	も年	怜を理!	自に	めく機会	まが制限	きされや	ナいと	いう状	況にも	5る。				
^	目	対	受益者					ま中の		齢者等	等												
P		象	対象 (直接働きかける)							7	L = 1	i. , 7											
	的	(どん	意図な状態にしたいか)								ように 7												
L A			・ 方 法 やって)	・年の上ま	に に に に に い り は に に い り り り り り り り り り り り り り り り り り	45歳 55歳 害者	以上 以上 を雇り 職者	第55歳 第65歳 用した 雇用	未満の 未満の 場合 した場	者を原 者を原 1人に 合 1	内に居住 雇用した つ人にたけ	た場合 と場合 2万P	主 1人 主 1人 日 2万円	につき につき	程用した 1万5, (2万円 は29年4月	000円	(給)						
			行政活動の紀	結果:	からこ	o ()	りだす	ものは	は何?	指	標	名	称	単位	算出力	法・詞	計算式	・目标	票値設	定の	考え方	など	最終目標値
N	評	活動指	補助金制度の	の周	知					情報技	是供回數	枚			広報紙	. , н ғ	等での	り情報	提供	定績			2
	価指標	哲標																					
<u> </u>	の 作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出力	法・詞	計算式	・目标	票値設	定の	考え方	など	最終目標値
	成	果指	中高年齢者	等の)	雇用率	を増	加			補助金	交付的	‡数	_	件	奨励金	交付到	ミ績						30
		標																					

	Į	Į	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	=	事業費等	(a)	円	285, 000	315, 000	215, 000	490, 000	1, 500, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	285, 000	315, 000	215, 000	490, 000	1, 500, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
		嘱 託 職	員	人					
	員	臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
1	7	対象 (者)	数						
	3	正利用(者)数	(b)						
	È	単位 コ ス ト (a)/	(b)	円	_	_	_	_	_
況	5	受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス	\ \	円	5. 00	6. 00	4. 00	9. 00	28. 00
			目標	<u> </u>	2	2	2	2	2
		情報提供回数	実績	1	2	2	2	2	2
	活		達成率	%	100. 00	100. 00	100.00	100.00	100.00
	動		目標						
	指	_	実績						
D	担標		達成率	%	-	•	•	_	_
	િ示		目標						
		_	実績						
			達成率	%	_	-	•	_	_
0	,		目標	件	30	30	30	30	30
	成	補助金交付件数	実績		15	17	12	14	20
	果		達成率	%	50.00	56. 67	40. 00	46. 67	66. 67
	果指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								

					確保事	_								事業期間						_	理番号		
担当	部	署産	集経済	郭		商コ	C課			商業労	政係		1	作成担当	4者名	4	山		[]		連絡先	•	434
	期			F	標						事	4							課	題			
-					- 1231							120							HP1		-		
	第	-制度:	用のP	R						チラシ													
	1	·奨励d							·交付決 ·交付決	足人数	:3名(昇	[計:3 □/■	名) 鼬.125 (MO III)									
7	期								- X 111 X	走観 :1	30,000F	7(米)	11 : 130,0	([]000									
siz	第																						
	2	·制度清		R						定人数													
	期	・奨励金	交付						·交付決	定額:1	55,000F	円(累	tt : 290,0	00円)									
期	741																						
741	第	-		_																			
	3	・制度に・奨励金	用のP	R					·交付決				2名 <i>)</i> 計:460.0	100E)									
2	期	- Je nn 3	EXTY.						- X 11 X	足假.!	/U,UUU[] (#e i	11 . 400,0	([]OO									
-																							
	第	・制度に	用のP	R					·交付決	定人数	·2名(里	. # 1 ⋅ 1	4名)			市内	1 準所	123	H 制度	在活月	見のPR の	か仕方	を検討
	4	·奨励d							·交付決					0円)		する必						- 1-73	
7	期																						
										事	中	評	価										
の -	当生	E度開始	後、糸	16 t	月が経	渦し、	新たに	生じた	と問題点	や環境	の変化	1 1	成拡	† z				2		5		7	
-		1 2000	1200	<u> </u>	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		-11-17-2711				果				j			9		v	
管													のり	見状維持	寺			3		6	レ	9	
												の	方 _新	눔 /	J۱			4		8		10	
		ψr	T ## A		1727	マケボ	·÷÷÷∓	(7b	廿 7-4	¥ //r \		- 1	미					<u> </u>		•		19	
理	17 ct	和: 30年度						(0)	革・改善	苦東)		方	性	ҟ 廃 ⊥	E (D							
	干办	い一段	も軽視	U, PJ	早安水1	2 0 (1	100					向			/ .	皆	減	縮	小	現	状維持	拡	大
												性	_				ス	-	•			向	
												ΙΞ					^	11	12 .	, t	// //	l+J	Ιエ
	-	评価年』	F	2	当年度		1																
	_		Z.				keL.	1	+	÷L	.l.eL			÷L	-		keL.		6//	^	=== /TF	dat	_
_	袳	• ••••		妥	当		性		有	効	性			効	率		性		総	合	評価	判	定
評	半仙	師の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判別	Ē			Α		
	チ	ェック					4					4					4						
		奨励金	の対象	者につ	いて、	中高年	手齢者以	外に	拡大して	いくこ	とも必	要とす	きえ、H	29年度	から子	育です	大性に	係	記 A:		どおり事	業を追	重めるこ
_		る奨励いく必			始され	たので	で、この	事業7	が中高年	齢者の	雇用に	結び作	すくよう	に、市	内企	業にP	R L T	כ		とが	週当 の進め方	仁心主	まが必要
価	=₩		女小の	ூ∙																	規模・内		
	沐	• 12																					€他土1本
	砵	• \2																	定	の見	直しが必		
^	•••																		定	の見	直しが必 の統合、		
	題																		定 義 D:	の見 事業 討が	直しが必 の統合、	休・原	
C	•••	• (2																-	定 義 D: 前年度	の見 事業 討が 総合	直しが必 の統合、 必要	休・原	E止の検 A
С	題		細	旅	<u> </u>	策	i	平	価	ń	ń		和	1	施		策	-	定 義 D: 前年度	の見事が総合	直しが必 の統合、 <u>必要</u> 評価判算	休・原	E止の検 A
С	題							-				補		•				-	定義 D:前年度前年度評	の見 事業が 総合 価シー	直しが必 の統合、 <u>必要</u> 評価判定 -ト整理番	休・序 号 04 後	隆止の検 A 030323
C H E	題総		漬は多					-	<u>価</u> る企業の					よ多くだ				-	定義 D:前年度前年度評	の見 事業が 総合 価シー	直しが必 の統合、 <u>必要</u> 評価判定 -ト整理番	休・序 号 04 後	隆止の検 A 030323
C H E	題総	補助実	漬は多					-					助実績	よ多くだ				-	定義 D:前年度前年度評	の見 事業が 総合 価シー	直しが必 の統合、 <u>必要</u> 評価判定 -ト整理番	休・序 号 04 後	隆止の検 A 030323
C H E C	い 題 総 合	補助実	漬は多					-					助実績	よ多くだ				-	定義 D:前年度前年度評	の見 事業が 総合 価シー	直しが必 の統合、 <u>必要</u> 評価判定 -ト整理番	休・序 号 04 後	隆止の検 A 030323
C H E C	題総	補助実	漬は多					-					助実績	よ多くだ				-	定義 D:前年度前年度評	の見 事業が 総合 価シー	直しが必 の統合、 <u>必要</u> 評価判定 -ト整理番	休・序 号 04 後	隆止の検 A 030323
C H E C K	題総合評	補助実	漬は多					-					助実績	よ多くだ				-	定義 D:前年度前年度評	の見 事業が 総合 価シー	直しが必 の統合、 <u>必要</u> 評価判定 -ト整理番	休・序 号 04 後	隆止の検 A 030323
C H E C K	い 題 総 合	補助実がって	續は多 いる。	くない	が、中	高年	治者を <mark>層</mark>	用する	る企業の)支援に	もつな	が	助実 績 !	ま 多く なる。	よいが	、中	年齢	者を	定義が年度評を展開する。	の見業が総合価シー	直の必評 ト 極 変 力 数 の 支 扱	休・序 号 04 後	隆止の検 A 030323
C H E C K)	題総合評	補助実がって	it多いる。	くない 文 革	が、 中	高年	冷者を雇 を の 実	用する	る企業の 状 況	支援に実	もつな 施 <u>済</u>	が	助実績につている	は多くだる。 細 施 策	ないが	五にま	5 ける	者を	定義 前年度評 雇用す	の事討総価シー	直の必評ト価業の支担性性	休・月 日 04 後 ほこも	隆止の検 A 030323
C H E C K) 改	題総合評	補助実がって	續は多 いる。	くない	が、 中	高年	冷者を雇 を の 実	用する	る企業の	支援に実	もつな	が	助実 績 !	は多くだる。 細 施 策	よいが	五にま	年齢	者を	定義が年度評を展開する。	の事討総価シー	直の必評 ト 極 変 力 数 の 支 扱	休・序 号 04 後	隆止の検 A 030323
C H E C K) 改革	於 題 総 合 評 価 今	補助って	it多いる。	くない 文 革	が、 中	高年	冷者を雇 を の 実	に施工	る企業の 状 況	支援に実	施 済	が 前	助実績() 「年度 の 「年度 の 「新報」	は多くだる。 細 施 策	き評価	五にま	5 ける	者を	定義 前年度評 雇用す	の事討総価シー	直の必評ト価業の支担性性	休・月 日 04 後 ほこも	隆止の検 A 030323
C H E C K) 改革·	於 題 総 合 評 価 ·	補が前成果	度は多の機能を表現した。	文革が	が、 中	高年	の実	に施工	状 況 価 ⑤	実	施 済	が 前 	助実績() 「年度 様	は 多く なる。 細 施 策	き評価	五にま	5 ける	者を	定義 前年度評 雇用す	の事討総価シー	直の必評ト価業性価	休・月 日 04 後 ほこも	隆止の検 A 030323
C H E C K) 改革·	於 題 総 合 評 価 今	補が 前 成果の	(権は多いる。 度で、 細	文革が	が、 中	高年	命者を 雇 きの実 ② ③	に施工	状 況 価 ⑤	支援に実	施 済	が 前	助実績 (い) 「 年度	t 多く なる。 細施策	き評価	五にま	5 ける	者を	定義 前年度評 雇用す	の事討総価シー	直の必評ト価業の支担性性	休・月 日 04 後 ほこも	隆止の検 A 030323
C H E C K) 改革·改善	い 題 総合評価 今後の	補が前成果の方実で	度は多の機能を表現した。	文革が	が、 中	高年	の実	に施工	状 況 価 ⑤	実	施 済 か	が 前 月	助っ 東で す 女 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	は 多く なる。 細 施 策	き評価	五にま	5 ける	者を	定義 前年度評 雇用す	の事討総価シー	直の必評ト価業性価	休・月 日 04 後 ほこも	隆止の検 A 030323
C H E C K) 改革·改善	い 題 総合評価 今後の方	補が 前 成果の	度細拡現状	文革が充地	が、中 ・ 改 <u>・</u>	高年	命者を 雇 きの実 ② ③	に施工	状況 価 ⑤	実 「	施 済 か	が 前 	助っ	は多くなる。細胞等	き 施	五にま	5 ける	者を	定義 前年度評 雇用す	の事討総価シー	直の必評ト価業性価	休・月 日 04 後 ほこも	隆止の検 A 030323
C H E C K) 改革・改善の方向	い 題 総合評価 今後の	補が前成果の方向実で年	度の細拡張状態	文革が充地	が、中 ・ 改 ・ ・ 1	善等策	命者を の 実 記 ② ③	【用する を 平	状況 価 ⑤ ⑥ L ⑧	実 「クリー・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン	施 済 前)	が 前 	助っ	は多くなる。細胞・無いのでは、一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一	き 施	五にま	5 年齢 3 ける	者を	定義前年度評理用す	の事討総 価シー 方 向	直の必評ト価学生価	休・月 04 後 [を止の検 A 030323 つな
C H E C K ン 改革・改善の方向性	い 題 総合評価 今後の方	補が前成果の方向実で年	度細拡現状	文革が充地	が、中 ・ 改 <u>・</u>	善等策	命者を の 実 記 ② ③ ④	【用すべ ・ 施 ・ 平	状況 価 ⑤ ⑥ 現状維	実 す で で で で で で で で	施 <u>済</u> 施 済)	が 前 	助っ	は多くなる。細胞等	き 施	重にま	5年齢 3 ける 策	者を	定義前の年度評別を表現のである。	の事討総 価 る 方 向 現現	直の必評ト価学学性価値と、 状緒の大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	休・『 号 04 後 しても	を止の検 A 030323 つな 大
C H E C K) 改革・改善の方向性(・	№ 題 総合評価 今後の方向性	補が 前 成果の方向性 実て 年	情 は 多 。 度 細 拡 現 縮 体 タ	文革が充地	・ 改 ・ 改 「 「 」 「 」 「 」	善策	命者を の 実 記 ② ③ 4	(用	状況 価 ⑤ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	支援 に 実 (7) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	施 済 市)	が 前 	助っ	は多くなる。 施策 広 現状維持	き 施 た	まにま ま	第年齢 (3) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	者を	定義前師年度評しています。	の事討総 価 る 方 向 現 の	直の必評ト価業では、「大力」というでは、「大力」というでは、「大力」というできませば、「大力」というでは、「いうでは、「大力」というでは、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが	休· B 04 後 L t	を止の検 A 030323 つな 大生
С Н Е С К) 改革・改善の方向性(A	№ 題 総合評価 今後の方向性改	補が 前 成果の方向性 事	情はる 度細拡 現縮 休 内容	くな 革 焼 充 持 小止 企業	・改・改・な	高年第一第一次の表現である。	おおお ままま で は ない は	提用する を を を を を を を を を を を を を	状況 価 ⑤ 明状維 ける労働	支援	施 済 ())) は 性とし	が 前 	助っ (東) (東) (東) (東) (東) (東) (東) (東)	は多くな 施 年 一	また。 を	皆ってお	新年齢 ・ は *** *** *** *** *** *** *** *** ***	*************************************	定義前前年屋田・佐田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・	の事討総 価 る 方	直の必評ト・「医学学・性性の関係を対し、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	休 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を止の検 A 030323 つな 大生
C H E C K) 改革・改善の方向性(ACT	№ 題 総合評価 今後の方向性改革	補が 前 成果の方向性 事	情はる 度細拡 現縮 休 内容	くな 革 焼 充 持 小止 企業	・改・改・な	高年第一第一次の表現である。	おおお ままま で は ない は	提用する を を を を を を を を を を を を を	状況 価 ⑤ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	支援	施 済 ())) は 性とし	が 前	助っ (東) (東) (東) (東) (東) (東) (東) (東)	は多くな 施 年 一	また。 を	皆ってお	新年齢 ・ は *** *** *** *** *** *** *** *** ***	*************************************	定義前前年屋田・佐田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・	の事討総 価 る 方	直の必評ト価業では、「大力」というでは、「大力」というでは、「大力」というできませば、「大力」というでは、「いうでは、「大力」というでは、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが、「ちが	休 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を止の検 A 030323 つな 大生
C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	№ 題 総合評価 今後の方向性改革・	補が 前 成果の方向性 事、 実て 年	情はる 度細拡 現縮 休 内容	くな 革 焼 充 持 小止 企業	・改・改・な	高年第一第一次の表現である。	おおお ままま で は ない は	提用する を を を を を を を を を を を を を	状況 価 ⑤ 明状維 ける労働	支援	施 済 ())) は 性とし	が 前	助っ	は多くな 施 年 一	また。 を	皆ってお	新年齢 ・ は *** *** *** *** *** *** *** *** ***	*************************************	定義前前年屋田・佐田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・	の事討総 価 る 方	直の必評ト・「医学学・性性の関係を対し、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	休 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を止の検 A 030323 つな 大生
C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	№ 題 総合評価 今後の方向性改革・改	補が 前 成果の方向性 事、 実て 年	情はる 度細拡 現縮 休 内容	くな 革 焼 充 持 小止 企業	・改・改・な	高年第一第一次の表現である。	おおお ままま で は ない は	提用する を を を を を を を を を を を を を	状況 価 ⑤ 明状維 ける労働	支援	施 済 ())) は 性とし	が 前	助っ	は多くな 施 年 一	また。 を	皆ってお	新年齢 ・ は *** *** *** *** *** *** *** *** ***	*************************************	定義前前年屋田・佐田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・	の事討総 価 る 方	直の必評ト・「医学学・性性の関係を対し、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	休 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を止の検 A 030323 つな 大生
C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTION	№ 題 総合評価 今後の方向性改革・改善	補が 前 成果の方向性 事、 実て 年	情はる 度細拡 現縮 休 内容	くな 革 焼 充 持 小止 企業	・改・改・な	高年第一第一次の表現である。	おおお ままま で は ない は	提用する を を を を を を を を を を を を を	状況 価 ⑤ 明状維 ける労働	支援	施 済 ())) は 性とし	が 前	助っ	は多くな 施 年 一	また。 を	皆ってお	新年齢 ・ は *** *** *** *** *** *** *** *** ***	*************************************	定義前前年屋田・佐田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・	の事討総 価 る 方	直の必評ト・「医学学・性性の関係を対し、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	休 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を止の検 A 030323 つな 大生
C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTION	№ 題 総合評価 今後の方向性改革・改	補が 前 成果の方向性 事、 実て 年	情はる 度細拡 現縮 休 内容	くな 革 焼 充 持 小止 企業	・改・改・な	高年第一第一次の表現である。	おおお ままま で は ない は	提用する を を を を を を を を を を を を を	状況 価 ⑤ 明状維 ける労働	支援	施 済 ())) は 性とし	が 前	助っ	は多くな 施 年 一	また。 を	皆ってお	新年齢 ・ は *** *** *** *** *** *** *** *** ***	*************************************	定義前前年屋田・佐田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・	の事討総 価 る 方	直の必評ト・「医学学・性性の関係を対し、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	休 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を止の検 A 030323 つな 大生
C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTION)	№ 題 総合評価 今後の方向性改革・改善策	補が 前 成果の方向性 事、 実て 年	情い 度 細 拡 現 縮 休 内の 内の 内内の 内内の 内内の 内内の 内内の 内内の 内内の 内内の	くななが、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・改・改・な	高年 第 策 ぶっしるため	着を (2) (3) (4) (4) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	TH M M M M M M M M M	状況 価 ⑤ 明状維 ける労働	支援 「	施 済 ())) は 性とし	が 前	助っ 東で 東で 東で 東で 東で 東で 東で 東で 東で 東で	は多くな 施 年 一	ない き 一 施 を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	皆ってお	新年齢 ・ は *** *** *** *** *** *** *** *** ***	*************************************	定義前前年屋田・佐田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・	の事討総 価 る 方	直の必評ト・価量学性・価値と対対の労の対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対が合い、対策を対対が合い、対策を対対の対対の対対が合い、対策を対対の対対が合い、対策を対対の対対が合い、対策を対対の対対が対対	休 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	を止の検 A 030323 つな 大生

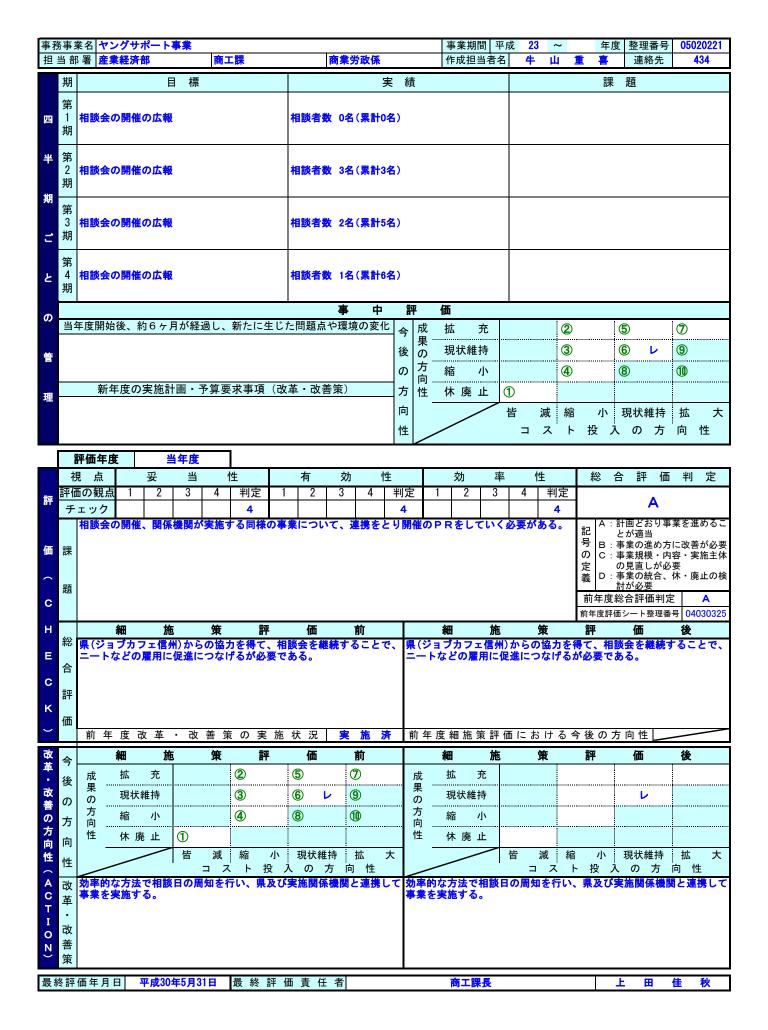
事系	事	【名	求職・就職	相談	業務方	E実事 第	Ę							事業期間	平成		~		年度	整理番号	05020220
担:	当部	署	産業経済部			商	[課			商業党	政係			作成担当	者名	4	山	1	Ė	連絡先	434
計	おり	ナる	プランに 位置づけ 事 業 名		支援	策 体 ³ 事業費	計	策 策 策 策 策 策 策 策 策 策 策 策 策 策 策 等 策 等	06 02 03	第6節 労働力 求職・	で 雇 で 保 ・ 就職	用の確 と雇用 は相談業	程保と人 対策 務充実		会計	コード	001	款	05 J	頁 01 目	01 事業 03
画	事	答事	業の概要 h かりやすく)	が市設	設置さ を含め と言め	れてい て6か 村:茅	ない市 所設置 野市、	が されてし 安曇野で	sいて、 いる。 f、駒ク	職業を	相談	・職業組 元市、 -	紹介等を 千曲市、	:行ってい 中野市	`る。 [国と市	町村が	《共同で	運営	。現在、県	機業安定所入れては茅野
			と 背 景うして)					り、雇り 駅前ペル					. 穷侧刀	の催保と	雇用系	可策を	幅広い	▶ 果を	行う	必要がある	0.
(Р	田	対 象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)			び就職 び就職															
	的	(どん	意図 はな状態にしたいか)											職を支援							
L			方法やって)	地域する		相談室	の設置	と相談	置にかえ	いる光	热水	建、通 f	言受(電	(話代等)	. 1	舌機リ-	ースギ	キ 、ベル	・ビア	共益費等	■務費を支援
			行政活動の	結果	からこ	つくりた	ごすも	のは何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目標	票值設定	官の考	え方など	最終目標値
Z	評価指	活動指標	求職者情報	の周	知				情報扱	是供回数	枚			広報紙	、ホー	・ムペー	-ジ等	で情報	提供到	実績	12
)	標の作	rt:	成果	•	効	果	はに	ī ?	指	標	名	称	単位	算出方	法・言	+算式	・目標	票值設定	この考	きえ方など	最終目標値
	成	成果指標	地域相談室	の活	用者数	Ż.			年間村	目談者勢	枚		人								8, 000
		175																			

		頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	-		(a)	円	187, 589	1, 285, 353	1, 269, 586	1, 211, 462	1, 277, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出 地 方	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円	400 000	4 005 050			4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
tete		般財	源	円	187, 589	1, 285, 353	1, 269, 586	1, 211, 462	1, 277, 000
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人	0.01	0.04	0.01	0.04	0.04
状		合 / *	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	>		数						
			(b)	ш					
			(b)	円	_	_		_	_
況		受 益 者 負 担 市民一人当たりのコス	額	円	3, 00	23, 00	22.00	22, 00	24. 00
		り氏一人自たりのコス		円	3. 00 12	23. 00 12	23. 00 12	12	24. 00 12
		情報提供回数	目標 実績		12	12	12	12	12
~			達成率	%	100, 00	100, 00	100, 00	100.00	100, 00
	活		目標	70	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動	_	実績	_					
	指		達成率	%	_	_		_	_
D	標		目標	/0					
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標		15, 000	8, 000	8. 000	8, 000	8, 000
	成	年間相談者数	実績	人	8, 532	8, 823	7, 572	8, 005	8, 000
	果		達成率	%	56, 88	110, 29	94, 65	100, 06	100, 00
	果指		目標			1-1-			
	標	_	実績	_					
	1731		達成率	%	_	-	_	_	_
	備				携事業とも連携				
	考	H24年度中途から職員(・H26年度から、年間相				 + 本 安	F度からベルビア2間	も人役に	
	75	・ロ40年及から、年間作		い昇入	ヒク広変史(ロ20まで)	は不主白致/ 『□2/□	+及かりヘルビア 2両	自17個本	

		業名 求職・		来 務允									事美	業期間	平凡	ζ	~			干 及	整理		UOL	20220
担	当 部	署 産業紀	済部		商工	課			商業	労政係			作原	支担当 を	5名	4	Щ	1	t į	ļ.	連絡	各先		434
	期			目標						1	実 絹	Ė								課	題			
四	第 1 期	職業相談宝						•相談3	室にかか	ジ等で情報 かる事務 で1,849	報提供 費の3	t 支払								HP IT	KE .			
半期	第 2 期	職業相談宮	医の運営支	泛援				•相談3	とにかか	等で情報 いる事務 さべ1,832	費のす	支払		 	11									
₩ :	第 3 期	職業相談国	■の運営支	援				·相談 ·相談 5,817名	をにかか 5数:述 ()	等で情報 いる事務 :ペ2,136:	費の3 名(10	支払)月-	い 12月)(!	累計:										
٤	第 4 期	職業相談国	医の運営支	で援				•相談雪	をにかか 5数:述	等で情報 いる事務 べ2,188	費の3 名(1)	支払 月−3	月)(累	計:8,00	05									
_O									事	中	ř	Ŧ	価											
	当年	丰度開始後	、約6ヶ	月が経過	過し、	新たに	こ生じた	た問題点	点や環境	竟の変化	三今	成		充				2		(7	
											後	果		犬維持				3		Œ	9	را	9	
管												の方												
											の	向	縮	小			(4		(8	3)		10	
理			の実施語							day or a	方	性		廃止	1)								
-		域職業相談 ・職業									向				-	E E	減	縮	/	۱ <u>ا</u>	見状約	作持	拡	大
		ているため							= 7 0		性				•	_ 	ス	<u>ا</u>			の		向	性
											II							_	12	^	•,	/,	1-7	1-
	Ī	评価年度	3	当年度																				
	裑	息点	妥	当	4	生		有	効	性	ŧ		交	h	率	1	生		総	合	評	価	判	定
評	評価	面の観点	1 2	3	4	判定	<u> </u>	2	3	4	判定	?	1	2	3	4	判別	Ē				^		
AT	チ	エック				4					4						4				4	Α		
		ハローワー	ついなし	・ルピタストー	ייים פ	د اها د	水椒石	*	日へい1	怕歌果两	874A MIL	U J 25	A STORY		日秋日	Eツ周	ねてザ	1	=- 1 ~	·			* C 1	進めるこ
価 (C	課題	広く行う& た、相談3	必要性があ ≧のさらな	SS H	27年度 による	を かられる。利用	相談室者増を	の移転	したた	め、利用	者の	推利	多を注荷	ける必	必要が	がある	。ま		の定義の	3:事事の事計 度	業規模 見重の が必要 合評値	重め方 関・内 が合、 配料定	容・写要 休・原	善が必要 実施主体 廃止の検 A 1030324
<u> </u>		広く行う必た、相談国	感のさら な	t & PR	27年度 による 策	6利用	相談室 者 増 を <u></u>	の移転	したた	前	者の	推和	を注ぎ	ける必	施	がある	。ま <u></u> 策		号の定義が年	3:事事の事計 度	業の趙 業規直 見業が必要 合評	重め方 関・内 が合、 配料定	容・写要 休・原	実施主体 廃止の検 A
(с н	題	た、相談3 細 H29年度か	Eのさらな が ら相談時	で 間が短線	策を	る利用さ	評・	図る。	したたと	が、利用	用者の し Hi	29年	を注ぎ 細	相談問	施計削が	《短縮	。ま 策 となっ) 	号の定義前年度が、	3: 度評年の事計総価	業業見業が合しては、日本の規値の必評し、日本のというできます。	きめ・が合と が合と 一半 理番	容要休· 月 04 後	実施主体 廃止の検 A 1030324
C	題総	た、相談国	Eのさらな が ら相談時	で 間が短線	策を	る利用さ	評・	図る。	したたと	が、利用	用者の し Hi	29年	多を注視	相談問	施計削が	《短縮	。ま 策 となっ	ったこつな	号の定義前年度が、	3: 度評年の事計総価	業業見業が合しては、日本の規値の必評し、日本のというできます。	きめ・が合と が合と 一半 理番	容要休· 月 04 後	実施主体 廃止の検 A 1030324
(с н	題	た、相談3 細 H29年度か	を見かれる。 別のさらなり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり お	るPR 間が短線 引者への	による 策 aと援に	ったかこつなが	評 へいかん	の移転。 価度 まり	したたと	前が微増	H者の し Hi	29年にお	を注ぎ 細	相談限実に活	施制者	く短縮く	。 ま を援 に	つな	号の定義が年度という。	3:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業業見業が合してよるの規値の必評しています。	がから がた。 一数では、 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまる。 できまする。 できる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。	容要休· 月 04 後	実施主体 廃止の検 A 1030324
(C H E C K)	題総合評価	た、相談 細 H29年度か ており、オ	を が が が が が か ら 相談時 計	を 間が短網 計者への	による 策 留支援に	ったがこつなが	香増を 評 作な が を	の図を表。	活用者	前が微増施済	H者の し Hi	29年にお	多を注 を 細 ・ 度 ・ 度 ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に	相談時度に活施策	施制を開かれている。	く短縮さ	。 ま 策 と 援 に	つな	号の定義前年度ががが後後	3:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業業見業が合うしよる向りを持し紛要何を基との対し、	がから がた。 一数では、 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまる。 できまする。 できる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。	容要休・B 04 後 後 が	実施主体 廃止の検 A 1030324
(C H E C	題総合評価今	た、相談 細 H29年度 か オ	を が	を 間が短網 計者への	による 策 aと援に	ったがこつなが	評 へいかん	の図を表。	活用者	前が微増	日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	29年 前 年	多を注 を 細 を た	相談時法	施制者	く短縮さ	。 ま を援 に	つな	号の定義が年度という。	3:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業業見業が合してよるの規値の必評しています。	がから がた。 一数では、 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまる。 できまする。 できる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。	容要休· 月 04 後	実施主体 廃止の検 A 1030324
(C H E C K) 改革·	題総合評価	た、相談 細かす 用29年り、オ	を	を 間が短網 計者への	による 策 留支援に	ったがこつなが	香増を 評 作な が を	の図を転った。状では、次のである。	活用者	前が微増	しれて	29年にお	を注する	相談既た	施制を開かれている。	く短縮さ	。 ま 策 と 援 に	つな	号の定義前年度ががが後後	3:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業業見業が合うしよる向りを持し紛要何を基との対し、	がから がた。 一数では、 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまる。 できまする。 できる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。	容要休・B 04 後 後 が	実施主体 廃止の検 A 1030324
(C H E C K) 改革·改	題総合評価今	た、相談 H29年度り、 前 成果の	を が	を 間が短網 計者への	による 策 留支援に	ったがこつなが	香増を 評 作な が を	の図を表。	活用者	前が微増	月者の し Hがて	推 29年 年 成果の	を注する	相談時法	施制を開かれている。	く短縮さ	。 ま 策 と 援 に	つな	号の定義前年度ががが後後	3:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業業見業が合うしよる向りを持し紛要何を基との対し、	がから がた。 一数では、 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまる。 できまする。 できる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。	容要休・B 04 後 後 が	実施主体 廃止の検 A 1030324
(C H E C K) 改革·改善	題総合評価今後の	た 、 相談	を	を 間が短網 計者への	による 策 留支援に	ったがこつなが	香増を 評 作な が を	の図を転った。状では、次のである。	活用者	前が微増	日本の し H/C て	## 29 ##	を注する	相談既た	施制を開かれている。	く短縮さ	。 ま 策 と 援 に	つな	号の定義前年度ががが後後	3:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業業見業が合うしよる向りを持し紛要何を基との対し、	がから がた。 一数では、 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまる。 できまする。 できる。 でる。 でる。 でる。	容要休・B 04 後 後 が	実施主体 廃止の検 A 1030324
(C H E C K) 改革·改善	題 総合評価 今後の方	た ・	を	を 間が短網 計者への	による 策 留支援に	ったが こつなが 2 3	香増を 評 作な が を	の 個 下度 よ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	活用者	前が微増	日本の し H7 て	推 29年 年 成果の	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	相談活施策	施制を開かれている。	く短縮さ	。 ま 策 と 援 に	つな	号の定義前年度ががが後後	3:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業業見業が合うしよる向りを持し紛要何を基との対し、	がから がた。 一数では、 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまる。 できまする。 できる。 でる。 でる。 でる。	容要休・B 04 後 後 が	実施主体 廃止の検 A 1030324
(C H E C K) 改革·改善	題 総合評価 今後の方向	た ・	を	であり、	による 策 留支援に	ったが こつなが 2 3	香増を 評 作な が を	の図 移る。 (価より (気) (気) (6) (8)	活用者	が、利用前が微増前でである。	日本の し H7 て	推 29お 前 成果の方向	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	相談時活	施	く短縮さ	。 ま 策 と 援 に	つな	号の定義前年度ががが後後	3 : : 度	業業見業が合 / ほる 向	を を は を に で に で に で に で に で に で に に に に に に に に に に に に に	容要休・B 04 後 後 が	実施主体 廃止の検 A 1030324
(C H E C K) 改革·改	題 総合評価 今後の方	た ・	を	を 間が短線 計者への	による 策 (5利用 ネック かったがこったがこってなが ② 3 ④ 縮	者増を 評しい につ 施	の 個 下度 よ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	活用者	が、利用前が微増前でである。	日本 に	推 29お 前 成果の方向	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	相談時活	施	く短縮す	。 ま	つな <u>6 今</u>	号の定義がががが、後評・小	3 : : 度	業業見業が合うしよる向りを持し紛要何を基との対し、	を受ける。 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	容要休・月 04 後者が4	実施主体 条止の検 A 1030324 散増 し
(C H E C K) 改革・改善の方向性	題 総合評価 今後の方向性 改革・改善	た ・	の おき	を B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	に 策 な援 (策) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	o 利用 で の で の で の で の で る	者増を 評しいが 実評 小り、かり	の図 移る。 (価より (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	活用者 実 (((((((((((((((((が、利用が微増が、動力を対しています。	日本	推 29 ま 前 成果の方向性 パロー	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	相関 施	施門者・価	がある 「気のの」に ましょう りょうしょ しょうしょ しょうしょう しょうしょく しょうしょう しょうしょく しょうしょく しょうしょく しょく しょうしょく しょうしょく しょく しょく しょうしょく しょうしょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく	。 策 と援 ; 策 減 地 域 地 域 大 地	つな	号の定義ががががが後に評して、日本のでは、日本の	3 : · · · · 度 評 作て	業業見業が合し、ほるのは、自体によるでは、自体には、自体には、自体には、自体には、自体には、自体には、自体には、自体に	を を は の・が たのと 一 を で たのと 一 を で たのと 一 を で の ・ が た の ・ が た の ・ の に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に 。 に に る に に に に に に に に に に に に に	容要休・月 04 後が	実施主体 A 1030324 酸増し 大性
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	題 総合評価 今後の方向性 改革・改	た H29年が 中が T T T T T T T T T	の おき	を B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	に 策 な援 (策) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	o 利用 で の で の で の で の で る	者増を 評しいが 実評 小り、かり	の図 移る。 (価より (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	活用者 実 (((((((((((((((((が、利用が微増が、動力を対しています。	日本	推 29 ま 前 成果の方向性 パロー	を を	相関 施	施門者・価	がある 「気のの」に ましょう りょうしょ しょうしょ しょうしょう しょうしょく しょうしょう しょうしょく しょうしょく しょうしょく しょく しょうしょく しょうしょく しょく しょく しょうしょく しょうしょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく	。 策 と援 ; 策 減 地 域 地 域 大 地	つな	号の定義ががががが後に評して、日本のでは、日本の	3 : · · · · 度 評 作て	業業見業が合し、ほるのは、自体によるでは、自体には、自体には、自体には、自体には、自体には、自体には、自体には、自体に	を を は の・が たのと 一 を で たのと 一 を で たのと 一 を で の ・ が た の ・ が た の ・ の に 。 に に る に に に に に に に に に に に に に	容要休・月 04 後が	実施主体 A 1030324 酸増し 大性

事務	事美	美名	ヤングサポ-	- F	事業										事	事業期間	平成	23	~		年度	整理番号	0502022	.1
担:	当部	署	産業経済部			ī	有工課				商業	労政保	ŧ.		作	す成担当 きんしょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	者名	牛	山	重	喜	連絡先	434	
								政	策	04	第4:	章 住	Eみやす	٠ ८ . (動き	やすく、	訪れ	てみた	い緑	のまち	づく	IJ		
			プランに	有	政策	策 体	系	施	策		第6				人材	の育成								
	おし	ナる	位置づけ		~ /		- 71		施策				と雇用											_
計	로	告	事業名					争的	事業	04	ヤン	2 7 1	∜一ト事	果			스計:	コード	1	款		項 目	事業	\dashv
	7	昇	尹 未 石	芳白	無業	者(=-	h. 5	7 IJ — 5	z — ,	フーキ	ング	プア) 🕯	幸に対	4.	る職業的						果 果若年終		+
画	事	務事 潔にオ	· 業の概要 ^{Dかりゃすく)}	ンタ	ーが	実施	する	ジョフ	が カフュ	:信州(こよる	相談	を毎月1	回開作	催し	、若年無	業者	をサポ	ト	し就職	ŧ、求 耳	敞を支援し	ている。	
) L ()	は、	就職	に対	する	下安を	抱えて	たおり、	雇用	につ	なぐこ。			の雇用の		厳し	ハ状汚	であ	る。ま	た、若年新	熊業者の中	に
	目	対	受益者							· · .	•													
P		象	対象 (直接働きかける)	ų Į	- 無 未	18 (Γ	79-5	z—, r	<i>)</i> — +	- 29	<i>)</i>											
	的	(どん	意図													かけとな								
L				相談	会の	実施	を広	吸する	622 1	に、	具係機	関と	連携した	ながら	. 1	告年無業	者の層	用促进	進を図	る。				
A			・ 方 法 やって)																					
			行政活動の約	洁果:	からこ	ب > د	りだす	もの	は何?	指	標	名	称	単	位	算出方法	去・計	算式	・目標	票値設	定の≉	きえ方など	最終目標	値
N		活動																						
	指	指標																						
-	標の		-t ==		払	pp.	14	let.	0	4E:	1277	Þ	1/-	114	<i>1</i> 4.	答いナ、	+ . = !	一		= /;t =0:	□ ∧ +	×=++:	旦幼口坪	/±
	作成	成	成果	•	効	果	ız	何	?	指	標	名	称	単	1立	昇出 万	太 • 計	异式	• 日科	景但設	疋のす	きえ方など	取終日標	胆
	195	果指	ジョブカフ:	工信	H					キャリア村	1談件	数		H	 	面談に。	よる相	談件勢	ţ					*
		標																						

	IJ		目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	H	事業費等	(a)	円					
	財		金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
^		地方	債	円					
	内		源	円					
	訳		源	円					
施	職	正規職	員	人					
			員	人					
	員	<u></u> 臨 時 職	員	人					
	数	<u></u> 合	計	人					
状	Ż		数	,,					
	3		(b)						
	Ě		(b)	円	_	_	_	_	_
況	5		額	円					
176		 		円	_	_	_	_	_
			目標						
		_	実績	_					
$\overline{}$	活		達成率	%	-	_	_	_	_
	白玉		目標						
	動	_	実績	_					
	指		達成率	%	-	_	_	_	_
D	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	<i>I</i> II-					
	成	キャリア相談件数	実績	件	10	2	2	6	6
	果		達成率	%	_	_	_	_	_
	果指		目標						
□		_	実績						
)	標						_	_	_
)	標		達成率	%	_	_			
)		*若年無業者に対する事業						_	_
)								_	_



事系	务事業	€名	茅野市労務	対策	協議会神	制助金3	を付事業	ŧ						事業期間	平成		~		年度	整理番	号 050	20222
担	当部	署	産業経済部			商工	#			商業労	政係		4	作成担当	者名	4	Щ	重	喜	連絡先		434
			プランに 位置づけ	有	政策	体 系	施 細 が		06 02	第6節 労働力	雇用の確保と	の確保。 雇用対策	と人 策	きやすく すの育成 助金交付		てみた	とい緑	のまち	づく	Ŋ		
計	子	笛	事業名	하색	· 支援事	业 事	争伤	尹未	- 11	7 ±1 111	ניא ולו נד.	来 励 議 7	K THI A	列亚义 的		コート	001	虾	05]	項 01 [01	事業 03
画	事	務事	· 業の概要 ・ 対 の 概要 ・ かりゃすく)	1Î とカ	業の存	続·発射 野市労	務対策	協議会	の活動	カは、ま	きすます	多様化	• 広		り、重	要なた	ギを	握る経	営戦	格となる。 に対応し	こうし	したこ
			と背景うして)	たこ 開し	ことからしていく	、ます 必要が	ます多 あるた	様化、 め。	広域化	含め人 と、そし	材確保I , てめま	は <u>必要</u> ₹ €ぐるし	F可ク く進	マなもの 歩する¶	であり 報化I	、重要 こ対応	をカー し、H	ギを握	る経り	営戦略と :求人活動	なる。; を積極	こうし 的に展
	目	対	受益者 (誰のために)		予市労務 予市労務			画企業														
P		象	対象(直接働きかける)		きの基盤			但状生	中士 2	<u> </u>	- +> Z											
	的	(どん	意図 はな状態にしたいか)														=					
L A			・ 方 法 やって)		予市労務			実施す	·る、協	品議会の	運営、	諏訪地	域就	職企業力	ガイド :	フック	作成、	諏訪坛	也域 就	職企業力	イダン	スの各
			行政活動の紀	結果:	からつく	くりだす	しものに	は何?	指	標	名 科	第	单 位	算出方	法・言	†算式	• 目 ^核	票値設:	定の考	きえ方な	ど 最終	目標値
N	評価	活動指	就職企業ガー	イダ	ンス参加	口者数			ガイダ	ンス参	加学生	数	人	前年度	の参加	者数						465
)	指標の	標																				
	作成	成	成果	•	効・	果は	何	?	指	標	名 和		单位	算出方	法・言	†算式	目標	票値設:	定の考	きえ方な	ど最終	目標値
	PX.	果指標	市内企業への	の就	職者数				市内企 者数	まへの	新規採	用	人	前年度	の就職	者数					-	158
		175																				

実施 財 国庫支出金 円 施 東東東 大 金 円 施 大 日 三 東 東 大 日 三 東 田	0 1, 783, 000 5 0. 05	1, 760, 740 1, 760, 740 0. 05	1, 750, 000	1, 750, 000	1, 750, 000	円 円 円 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他特定財源	財源
実施 原内内	5 0.05	0.05	0.03	0. 03		円 円 円	県 支 出 金 地 方 債 その他特定財源	源
実 源	5 0.05	0.05	0.03	0. 03		円 円 円	地 方 債 その他特定財源	源
大	5 0.05	0.05	0.03	0. 03		円円	その他特定財源	
To	5 0.05	0.05	0.03	0. 03		円	その他特定財源	-
Table Ta	5 0.05	0.05	0.03	0. 03				
大大 「	5 0.05	0.05			0. 03	, L	一般財源	
大			0.03	0. 03			正規職員	1 職
数			0. 03	0. 03		人	嘱 託 職 員	
状 対 象 (者)数 団体 延利用(者)数(b)団体 単位コスト(a)/(b)円			0. 03	0. 03		人	臨 時 職 員	
対象(看)数(D) 団体 延利用(者)数(b) 団体 単位コスト(a)/(b) 円 ー ー ー ー 受益者負担額円 市民一人当たりのコスト 円 31.00 31.00 31.00 32.0 ガイダンス参加学生数 実績 人 503 426 465 44	_				0. 03		合 計	数
単位コスト(a)/(b) 円 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	_	_				団体		,
記 受益者負担額 円 市民一人当たりのコスト 円 31.00 31.00 31.00 32.0 ガイダンス参加学生数 実績 人 503 426 465 44	_	_				団体		
市民一人当たりのコスト 円 31.00 31.00 31.00 32.0 ガイダンス参加学生数 実績 人 503 426 465 44			-	-	-	円		j
ガイダンス参加学生数 目標 実績 人 584 500 426 465 44								
ガイダンス参加学生数 実績 人 503 426 465 44		32. 00				円	市民一人当たりのコスト	
70 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		465	426	500		I	目標	
達成率 % 86.13 85.20 109.15 95.4	444	444	465	426	503	~	ガイダンス参加学生数 実績	
	3 100.00	95. 48	109. 15	85. 20	86. 13	%		活
■							目標	新
性 一								地
上海 连风竿 90 - - - - -	_	_	-	-	_	%		抽
							目標	「宗
実績								
E/A-T /0	_	_				%		
で成 市内企業への新規採用 目標実績 人 135 151 146 15 ま数 151 146 158 12		158				1	古内企業への新規採用 目標) .
成 果 本数 実績 人 151 146 158 12 達成率 % 111.85 96.69 108.22 79.7		126	158	146	151	~	中内正条への制成体用 実績	成
果 ^{1 数} 達成率 96 111.85 96.69 108.22 79.7	5 100.00	79. 75	108. 22	96. 69	111. 85	%	连八年	果
							目標	」 指
							- 実績	標
12.7% + 70	_	_	_				達成率	
	_	-	_				達成率	借

	当部	来名 孝芸	経済		协议工	商」		*		商業労	Th /家				来期间 成担当	-		ш	事 章	度 <u> </u>	434
댇		有 性	< 単生 <i>(</i> 月111			间一	- - - - - - - - - -			尚未力				TF	水型目	日白	4	щ	4 *		404
	期			E	標						身	€ 糸	責						誀	題	
四	第 1 期	茅野市党事業を対			会と連	携を図	り、実施	する	·諏訪地域 1回(参加	数迎大会 数126名 (合同就取 0企業107 1企業92本	19事業 説明会 社(うち)	:2回(市内26	(社)	学生934	ž						
半期	第 2 期	茅野市党事業を対			会と連	携を図	り、実施	する	·諏訪地 3回(参	域合同的						i					
₹ 1J	第 3 期	茅野市等事業を支			会と連	携を図	り、実施		·離転職 ·年末企 社) 学生	業研究					うち市	内18					
٤	第 4 期	茅野市党 事業を支			会と連	携を図	り、実施	する		域合同: 加企業 加企業	110社(うちで	内巾	29社)	学生11				策協議会 なPRが	さと連携し、学 必要。	生及び事業
Ø										事	中	Ī	Ŧ	価							
V)	当年	丰度開始	後、糺	96ヶ月	月が経済	過し、	新たに	生じた	問題点	や環境	の変化	今	成	拡拡	充	;		2)	⑤	7
												-	果							-	
管												後	の		状維持			3		⑥ レ	9
												の	方向		小	١		4)	8	10
理	_						求事項					方	性		廃止		D				
_		き続き茅 と実施し					援すると	ともに	、連携を	図り横	塵的な	向				,	皆	減縮	計 小	現状維持	拡大
				a Mar Pierr	-53.00							性						スト			向 性
												1-	/	_				, ,	٠ ٨٠	, ,,	1.3 12
		評価年度	Ę	횔	4年度																
	裑	見点		妥	当	'	性		有	効	性	Ē		:	効	率	性	ŧ	総	合評価	判定
評	評価	■の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判员	Ε	1	2	3	4	判定		A	
	チ	ェック					4					4						4			
		リーマン場の状況																	記 A:	計画どおり事 とが適当	業を進めるこ
価	課	いる。																		事業の進め方	
		ガイドラ	ブック Elの課	を大学	、図書	館等の	D公共施 くがいて	設に間の効果	■くなど	、効果	的に新	卒者	に	テき渡・ z	るよう	こする	るととも	りに、	の C:	事業規模・内 の見直しが必	
•	題	JJ 433 A3 J	PC DOWN DREEK	∡ 1⊂83	0 - C #	149K 73 -	1 / / /	V) ///	KH1/6-DI	旧座ツ東	B1 /3 '92	· SC /3	3 00 1	o •					義 D	事業の統合、 討が必要	休・廃止の検
С	起																		前年度	総合評価判定	≧ A
0																			前年度評	価シート整理番	号 04030332
Н	<i>(</i> (1)		細	施		策	ř		価	Ħ				細		施		衰	評	価	後
Е	総		」が減しせた	少して	いる中	、これ	れからの 更な課題	企業人	を とび 茅野 は 単発	市の産	業を担 鎌金が	つ 1	労働	人口が	減少した確保	てい	る中、	これか 番声か	らの企業	及び茅野市の り、労務対策	D産業を担っ E位議会が思
_	合	たす役割	削は大	きいこ	とから	、引	き続き支	援をす	けるとと	もに、	連携し	.人 †	こす	役割は	大きい	こと	から、	≖安々 引き続	き支援を	するとともに	に、連携し人
С		材確保に	こ努め	ていく	•							†	才確	保に努	めてい	۷.					
	評																				
K	価																				
)		前年	度引	友 革	· 改	善策	きの実	施	状 況	実	施済		前右	丰度 紙	地 施 策	評個	11にお	ける	今後の	方 向 性	
改	今		細	施	į	策	F	F	価	Ħ	ĵj			細		施	ý	衰	評	価	後
革	後	成	拡	充			2		⑤	7)		成	拡	充						
改		果	現状	維持			3		6 L	, 9)		果の	頊	状維持					V	
善	の	の 方					ļ	j.					の方							_	
の方	方	向	縮	小			4		8	10			向	縮							
の方向	向	性	休原	上	①								性	休	廃止						
性	性	_			皆	減 っっっ	縮 、ト i	小火火	現状維 、 の :			大						成 糸	a 小 ト 投 .	現状維持 入 の 方	拡 大向性
A	改	労働力を	作保と	屋用村		コス	イダン	と 入る				有自	· ·	力確保	と屋田	対策				へ の _万 業等の就業3	
С	以革						て事業				- A-10								事業を行		-W-T-W-10-11
Т	平																				
IO	改																				
) Z)	善																				
)	策																				
最終	タ 証	価年月	7 3	<u></u>	在5日3	18	是 終	証 研		老				-	工課長					上田	佳 秋

± 44, 450

			インターン		プ促	進事	業									事業期間	平原	戈 23	~		年度	整理番	号	05020127
担:	当部	署	産業経済部	}			商工記	果			工業	・産	業振	興係		作成担当	者名	小	平	昌	紀	連絡先	;	432
								政	策	04	第 4	章	住み	やす	く、働き	きやすく	、訪ね	れてみれ	とい緑	のまっ	ちづく	J		
			プランに		잰	策(太系	施	策	06	第6					材の育成								
	おり	ける	位置づけ	1"		ж r	T. 710		施策	02				雇用										
計				4	<u> </u>			事剂	务事業	10	イン	クター	<u>-ンシ</u>	/ツブ	推進事	Ę.	I A -		» l			- 64 5		
AT	予	算	事 業 名			賽事 第					***		7.1.			=r4. > v		† ⊐ — ŀ					-	03 事業 03
																								ページへの 听に対し、
	事	務事	業の概要 わかりやすく)	指導	夢の†	こめに	配置	したノ	人員の,	人件費	につ	いて	補助₫	金を交	付し、	事業所の)受け	入れ体	制のす	接を	行うこ	とにより	Ţ	更なるイン
画	(mg	AR IC	17 18 9 14 7	ター	ーシャ	ップの)促進	を図り	り、学生	生等の	卒業	後の ř	市内₹	事業所	への就	職の増加	につ	なげる	•					
				4 ∓1	th 1 = 1	2117	-1+	学生的	±ጠ⊈፣	全年齡	<u>. п</u>	の海ノ	1> 5:1-4	# 1	業所で	IT 45.2	str l	材の確	但が値		理額レ	なってい	١.٨	
	現	状心	と背景うして)	133	W1~0	30.0	. 10.	T-1	4 02 I	* T MI	Д	77 89 0 3	y /13 y	K. T	*III C	10. 12.7	3.67	TH CO INE	WW.9	C SEC U			۰ ت	1
	(۷.					- 4 100																	
	B	対	受益者	क	7年3	下門が	なび学	生等																
	Ħ	. •		市區	内事業	削																		
		象	対 象 (直接働きかける)																					
Р				** /	士生	1 車 立	11-3/	A F	うか事も	単正の	+ :=:	た坦ん	## 1	10	<i>b</i> _`	シップを	中体	オス						
	的	/ 10 /	意図 な状態にしたいか)	-	T 47 v	ノ女王	E1~/[76.	ノムチョ	*17107	<i>/</i>] / K	Œ DE I	χυ,	. 1 2	y-2	2926	天心	9 %						
		(21	/な状態にしたいか)																					
L				事	東所な	いら号	を入情	報を抗	是供いた	とだき	、字:	生等に	こ同じ	ナてホ	ームペ	ージに排	載、	情報発	信する	٥.				
	丰	卧	・方法																					
			やって)																					
Α																								
				41.00						1				-, I		I							=	
			行政活動の	結果	から	つく	りだす	ナもの	は何?	指	標	 1	<u>ያ</u>	称	単位	算出方	法・	計算式	・目标	票値 該	足の名	え方な	ど雨	長終目標値
N		活動	インターン	シッ	プ受	入事	業所作	牛数		受入	件数				件	受入件	数							10
IN	評価	指																						
	指	標																						
	標																							
)	の 作	成	成果		効	果	は	何	?	指	標	4	<u> </u>	称	単位	算出方	法・	計算式	目標	票値設	定の考	え方なり	ど晶	曼終目標値
	成	果	インターン	2. 11	プ油	Bh 🚓	存件!	(#h		交付.	1 ##					交付人	*h							20
		指	1 7 7 7	10	✓ Tff	-W 311	~ 13 Z	\ XX		Z 19.	八双					ZIII	**						-	
		標																						
																-								

	Į	頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	=	事業費等	(a)	円				265, 000	1, 490, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円				265, 000	1, 490, 000
施	職	正規職	員	人				0. 20	0. 20
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人				0. 01	0.01
状		合	計	人				0. 21	0. 21
		対象 (者)	数						
L			(b)						
			(b)	円	_	-	_	_	-
況		受益者負担	額	円				F 00	F4 00
_		市民一人当たりのコス		円		_	_	5. 00	54. 00
		50 7 July 444	目標	件				10	10 10
$\overline{}$		受入件数	実績達成率		_	_	_	80.00	100.00
	活			%	<u> </u>	_	_	60.00	100.00
	動	_	目標実績	_					
	動指	_	達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標	%0		_	_	_	_
		_	実績	_					
			達成率	%		_	_	_	_
0			目標	70				20	20
	成	交付人数	実績	人				14	20
	果	2137.86	達成率	%	_	_	_	70.00	100.00
	指		目標					70.00	100.00
\sim	標	_	実績	_					
	INE		達成率	%	_	_	_	_	_
	/++	H29年度から、茅野市イン			プ促進事業補助金交	付要綱の施行に伴い.	活動指標及び成果料	i標を受入件数及び補	助金交付人数に変
	1厘	更する。				112541111211111111111111111111111111111		10 C 20 11 30 00 110	
	老								

	-		ンター 業経済		プ促進	事業商	に課			I	業・道	E業振	興係				間 平 当者名	_		~	全 昌 新	度	整理番号 連絡先		20127 32
	期				目 標							実	緑	į							i	課	題		
四	第 1 期	・ホー.	所情報の ムページ 金交付 9	への	青報掲				·ホー ·補助	提供事 ムペー 金申請 金交作	-ジ掲: 青件数 寸人数	載数: (:0件 (:0人	8件((累計 (累計	果 †:C	計:8作)件))件)	‡)		所へ	事業	所情	報の提	供を	機関に対呼び掛けてが少ない	ているが	事業
	第 2 期	・ホー.	所情報の ムページ 金交付を	への	青報掲				·ホー ·補助	提供事 ムペー 金申計 金交作	-ジ掲: 青件数	載数: (:8件	9件((累計	果! :8	計:9 # 件)			所へ	事業	所情:	報の提	供を	機関に対 呼び掛け 所が少ない	ているが	事業 く、情
期ご	第 3 期	·ホー.	所情報 の ムページ 金交付	への	青報掲				·ホー ·補助	提供事 ムペー 金申計	-ジ掲: 青件数	載数: t:0件	O件((累計	果! -:8	計:9# (件)			所へ	事業	所情:	報の提	供を	機関に対呼び掛けてが少ない	ているが	事業
٤	第 4 期	·木一』 ·補助:	所情報の ムページ 金交付 要求事	へのヤ 受付及	青報掲	栊			·ホー ·補助	提供項 ムペー 金申請 金交作	-ジ掲: 青件数	載数: (:0件	O件(【果計	果! - :8	計:9 # 件)	+) +)		所へ	事業	所情:	報の提	供を	機関に対呼び掛けてが少ない	ているが	
Ø	.12.4		1. 44. 1		- 18AT		±- , ,	- 11 18	,		5	中	部		価										
			始後、約 <mark>可能事</mark>										今	成果			充			2		Œ)	7	
	提供	もの周先	に努め	ていく	。また、	ホーム	ページ	の情報	の更	折を頻			後	の	玙	状維	持			3		Œ)	9	
	74	- 及 ひ巾	内企業	ei-xic	ノ、1育報	提供を	打つ蛇・	安かめ	ると考	える。			の	方向		i	小			4		(8	3)	10	
理			年度の										方	性		. 廃 .	止	1							
	内企	業には	ので、う は事業の 本年度。	周知を	を行い、	インター	ーンシッ	よ、年月 ソプ促進	を行う	はとも	よるな	第二	向 性		_	/		皆 コ	減 ス	縮 ト	`		現状維持 の 方	拡向	大性
	評価年度 当年度 視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定																								
		•										_	4 1						総	合	評価	判	定		
評			<u> </u>	2	3	4		E I	2	3	3	4		-	ı	2	3	4	+				Α		
			・ムペー	ジや雨	工会	養所等	•	関から	市内事	業所	に向け	けて制		知る	としま	したな	が、事	業初年			A			業を進	めるこ
(

事系	务事等	Ě名	茅野市新入:	社員	歓迎大	会事業								事業期間	平成	;	~		年度	整理番号	050	20223
担:	当 部	署	産業経済部			商工	課			商業党	政係			作成担当	者名	4	山	1	<u> </u>	連絡先	4	134
			プランに 位置づけ	有	政分	策 体 系	新	改 策 施 策 細 施 事務事業	04 06 02	第4章 第6節 労働カ	万屋	用の確	保と人	きやすく 材の育成		てみた	とい縁の	のまち	づくり	Ŋ		
計	予	算	事 業 名	就労	支援	事業費		ナかチネ							会計	コート	001	款	05 I	頁 01 目	01 3	事業 03
画			・業の概要	る。	その	際、記:	念品。	に就職し、 として、# め、アト:	単文を・	イメー	ジする	5粗品等	手を贈呈	*校卒業者 !し、茅野	市の	出を祝 聞文文	福する化を発	ため新	f入社	員歓迎大	会を開	催す の情報
	現(状ど	と背景うして)		ものグ 果題で、		レ展	開に伴い、	雇用理	環境が	変化す	「るなが	か、次代	を担う人	、材の)	≣用と.	雇用先	の確保	は、	各自治体	におい	て重要
(目	対	受益者		新入																	
P		象	対象 (直接働きかける)																			
	的	(どん	意図					福し、企業							育む。	•						
L			・ 方 法 やって)	記念	品代	(366, 00)0円) 官) (使用料(41			員歓迎	型大会	を開催す	⁻る 。								
			行政活動の	結果	からつ	くりだ	すも	のは何?			名	称	単 位	算出方	法・言	†算式	・目標	植設定	定の考	きえ方なと	最終	目標値
N	П	活動指標	新規採用し	た市	内企業	数			企業/数	への開作	崔案内	通知	人	前年度	の開催	案内道	基知数					54
)	指標の作		成果		効	果は	t 1	何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・言	卡 貸+	• 日標	重值 設元	宇の老	きえ方など	計長終	日標値
	成	成果指	新入社員歓							大会参加			人	前年度			<u>н</u> и				A 11'	158
		標																				

	Į		目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	1		(a)	円	332, 904	362, 880	439, 320	59, 680	471, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
_	源	県 支 出	金	円					
	内	地 方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	332, 904	362, 880	439, 320	59, 680	471, 000
施	職	正規職	員	人	0. 02	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 02	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03
7	7		数						
			(b)						
	È		(b)	円	_	-	-	_	_
況		受益者負担	額	円					
	ī	5 民一人当たりのコス		円	6. 00	6. 00	8. 00	1. 00	13. 00
		企業への開催案内通知	目標	人	53	50	49	54	50
		世来への刑権未り通知数	実績	<	50	49	54	50	50
	活	30.	達成率	%	94. 34	98. 00	110. 20	92. 59	100.00
	動		目標						
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	•	_	_
	慓		目標						
		_	実績						
			達成率	%	_	_	-	_	_
0			目標	人	130	151	146	158	126
	成	歓迎大会参加者数	実績		151	146	158	126	126
	果		達成率	%	116. 15	96. 69	108. 22	79. 75	100.00
\cup	成果指		目標						
	標	_	実績						
			達成率	%	-	_	-	_	_
	備	活動指標の企業数は、茅 ※最終目標数値は本事業	野市労 に馴染	・ 務対 き まなし	ξ協議会加盟数及び公 νので設定しない。	、共機関等の実数			

		業名 茅			歓迎大	_			1-	- 484 AM T-	. Pre			_	美期間			~		年	皮	整理番		5020223
担:	当 部	署 産業	R柱)	1 P		23	C課		i i	業労政	徐			作协	找担当	百名	<u></u>	山				連絡先	;	434
	期			E	標						実	績	_							語	果	題		
四	第 1 期	-歓迎大	会開作	と 準備 2	及び開作	崔			参加事業 参加者数			i						規模	事業	者にお				している の採用
*	第 2 期	•翌年度	の開催	上内容等	等の検	Ħ																		
期ご	第 3 期	•翌年度	の開催	性内容等	等の検	Ħ																		
٤	第 4 期	·商工会 ·開催案				鵋譲			H30 開催	案内送付	寸数:ī	市内	I21 導	業所										
•										事	中	P	Ž.	価										
Ø	当生	丰度開始	後、糸	96ヶ月	月が経	過し、	新たに	生 <u>じ</u> た	問題点や	環境の	変化	今	成	拡	充				2		(5))	7	
													果	IB /I	Ŀ %# +±			j.						
管												後	の	現初	犬維持				3		6) レ	9	
												の	方向。	縮	小				4		8)	10)
理									・改善			方	性	休」	廃止	(1	D							
埋	茅	野市内の	事業	近に就り	職し、業	行社会	人を祝福	するた	め新入社 つながる	員歓迎	大会	向	-			١,		減	縮	小	ŦĒ		射	大 大
		き事業を			本及し	N JUL 198, E	生未い泊	1±161~	こうなかる	ここから	וכיי	性				1	■ . □	ス	лн -	·//· 投		のた		
												淮	_					^	Γ	仅	<u> </u>	0)).) IPJ	Ί±
	i	评価年月	ŧ	1	4年度		1																	
	祷	息点		妥	当		性		有	効	性			対	<u> </u>	率	性	ŧ		総	合	評(西半	判 定
-	評価	面の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3 4	4	判定		1	2	3	4	判	ŧ					
評		ェック					4					4						4				Α		
		景気が.	上向き	、求人	倍率も	上昇し	している	中、首	都圏及び	大企業	へ新	卒等	人材	が集中	してし	いるの	Dで、i	ħ内·	\	記 A			事業を	進めるこ
_		就職する	る人材	の確保	と雇用	先の研究	を保は大	きな課	題。 新入社員	s so :m →	<u>~</u>	Ω ♣.	hn 😩 :	と抽み	·+							が適当 業の進め	方に改	対善が必要
価	課	7 = F 1 1	41C00	O TA	131- 402	194 132 H	ᄣᄱᄱ	1-59	初八江		X • • •	ישרט.)H 7H 1	Z 48 (*	7 0					の c	: 事	業規模・	内容・	実施主体
~																				定 義 D	: 事			廃止の検
	題																			- 一		が必要 合評価半		Α
С																			-					A 04030343
н			細	施	;	策	評	E	価	前				細		施	4	策		評	ТШИ	価	担力	
	総	茅野商:	上会議	所や茅	野市労	務対領	5協議会	と連携	し、新規会加書機	採用者	の歓	迎茅	野商						協議		横し			<u>.</u> 者の歓迎
Е		ことがい	リータで	フ C 柳に	C 1F 2		ヽ。てい	ために	参加者数	な増や	すた	_	交流	の場を	を引き	続き	作って	いく				加者数		
	合	め、積	重的な	P R を	図って	いく。						Ø,	、横	極的な	≵PR	を図	ってい	۲.						
С	評																							
ĸ	ш																							
	価																							
Ŭ		前年	度。	革	· 改	善策	きの実	施地	犬 況	実 施	済	自	1 年	度細	施策	評価	11にお	ける	5 今	·後の	方「	句性		
改	今		細	施	į	策	計	F	価	前				細		施	Ś	策		評		価	袒	É
革・	後	成	拡	充			2	(5	7			成	拡	充									
改		果	現状	維持			3	(6) レ	9			果 の	現状	犬維持							レ		
改善	の	の 方					į	j					方		/\									
の	方	向	縮	小			4	(B	10			向	縮										
の方向	向	性	休原	止	1								性 _	休	廃止									
性	性				皆	_ 減 	縮		現状維持	•	,大	:				-		減一	縮	小		見状維持		
Â		会 fin 老 i	新大禅	わオた		コス	、 ト i と連携し	投入	の 方 者へ効 場			4	thn #	数大4	ぬわま	ため	関係機	ス				の 方 <mark>iへ効果</mark>		
C	改革	受加付の		- y /=	が関い	(1)或[类] (- 圧防し	、尹未	···日*	SHI/OF P	N Z	2	加付って	致で4いく。	= (~9	(LO)	天 不慢	ĦC	建步	5 U 、 	* *1	a * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	5 KIN 5	r K &
Т	中		-																					
I	改																							
0																								
NL.	善																							
Z)	善策																							
	策	価年月		平成30:		10		≅a; /#	責任	±.				-	工課長						F	H	佳	 秋

事	务事為	業名	中小企業退	戦金:	共済担	全神	助事	業							事業期間	平成		~		年度	整理	里番号	05020224
担	当部	署	産業経済部			育	工課	Į			商業	分政係			作成担当	者名	4	Щ	重	喜	連	絡先	434
担 計 画 (PL	市おり予り	民ナりなり、大きの対象を表しています。	プランに 位置づけ	市たも市内中小中小	が 者福の中の 中 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	策 利小被 小 者 者 退職	系・生物の名	政施細事援事者に登集者ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	事業のつの不可能を表現して、「「「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」	06 04 01 1 1 かり たの増え	第41 動労・中小1 生と中 生と中 かの向	章 住 住 雇 雇 在 在 雇 在 在 在 在 在 在 在 在 在 在 在 在 在	みや? 用事業の 集の振 業の振	すくと 奥間 センス は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	きやすくが材の育成補助事業	会計業者に	てみた	こい <mark>縁</mark> ド <u>00</u> で、中	款 	05	項 0	01 目	434
A			・ 方 法 やって)															_					
			行政活動の組	結果:	からこ	つくり	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	目标	票値設	定の	考えブ	ちなど	最終目標値
N	評価	活動指	中小企業退	戦金	共済担	金契	約者			補助金	を受	けたノ	数	٨	前年度	の対象	者						381
	価指標の	標																					
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	目标	票値設	定の	考えブ	ちなど	最終目標値
	成	果指標	中小企業退	戦金	共済技	十金神	助金	該当1	業	補助を	受け	た企業	美数	社	前年度	の対象	企業						81

	Į	頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	-	事業費等	(a)	円	787, 200	745, 600	679, 200	688, 400	1, 500, 000
	財	国庫支出	金	円		,	·	·	
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	787, 200	745, 600	679, 200	688, 400	1, 500, 000
施	職	正規職	員	人	0. 03	0. 03	0. 03	0. 05	0. 05
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 03	0. 03	0. 03	0. 05	0. 05
1/		对 象 (者)	数						
			(b)		460	405			
			(b)	円	1, 711	1, 841	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	14. 00	13.00	12. 00	12.00	34. 00
			目標	人	605	460	405	381	445
		補助金を受けた人数	実績		460	405	381	445	445
	活		達成率	%	76. 03	88. 04	94. 07	116. 80	100.00
	動		目標	_					
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	-		-	
	IN		目標	_					
		_	実績	0.4					
			達成率	%				- 81	
0	成	補助を受けた企業数	目標	社	74	76		79	79
	果	補助を受けた正条数	実績達成率	%	102. 78	102, 70	106, 58	97. 53	100.00
	木指		目標	70	102. 70	102. 70	100. 00	31. 33	100.00
<u> </u>	招標		実績	_					
	惊		達成率	%	_	_		_	_
			进州平	70					
	備								
	考								
	73								

			企業退職的	金共済捜								業期間	_		~		年度	整理番号	
担:	当部	署 産業	経済部		商コ	[課	ī	5業労政 (<u> </u>		1	成担旨	当者名	4	Щ	Ī	喜	連絡先	434
	期			目 標					実	績							課	題	
四	第	加入のPI	R及び促進				・ものづく! 等掲載	リネット及	びホー	· / /	ページへ	の制度	E周知						
半期	第 2 期	加入のPI	R及び促進	İ			・ものづく 等掲載 ・広報8月		•		-	の制度	E周知						
	第 3 期	加入のPI	R及び促進	1			ものづく 等掲載	リネット及	びホー	·4^	ページへ	の制度	E周知						
٤	第 4 期		業所宛補即 交付申請受				-申請事第	美所79事業	美所 4	45 名	に対し	補助金	· 交 付	が増力	ル新規	見のが		減少してい	過した対象者 る。制度の
Ø								中	評	価									
U)	当年	丰度開始很	後、約6ヶ	-月が経	過し、	新たに生	じた問題点や	ኳ環境の変	变化 .		成が		充		C	2	(5	7
										: ا بر	果		 		C	3	(6 レ	9
管											"								
									(ク 向	1	小		(4)	(8)	10
理	377 E		度の実施 継続し、予				(改革・改善	策)	7	方	性	廃」	止 (\mathfrak{D}					
	T 194	(00 - 12 0	THE HOLO . I	开文小	<u>.</u>				Г	句				皆	減 :	縮	小	現状維持	拡大
									1	生				⊐	ス	٢	投 入	の方	向 性
						1													
		評価年度		当年度		hat.		41	Jet		1	- 11	-		ėL.		<i>(</i> /\) ^	. =::: /T	- Mar
		見 点 画の観点	妥 1 2	当 3	1 4	性 判定	有 1 2 1	効 3 4	性业	定	1	効 2	<u>率</u>	1 4	生 判定	,	総合	評 価	判定
評		エック	1 2	- 3	4	4	1 2	3 4		4	<u> </u>		3	7	4	-		Α	
価		企業に対ごとにば	し、共済 らつきが	制度の F あること	Rを作:から、	テい、加入 補助金交	、企業の拡大で で付額について	を図る。 でも、ば	補助金	交付があ	†期間か うる。	満了と	:なる	加入者	が年度	5	記 B:事 の C:事	: が適当 ■業の進めた ■業規模・内	業を進める。 「に改善が必引 「容・実施主体
О	題															Tiple .	します。 前年度総	けが必要 合評価判別	休・廃止の村
		4	·m	l.i-	Mr		/m:	- 44.			Δπ	1	44-		Adr				号 0403033
Н	総			施 <mark>スことで</mark>	策	・に退職金	価 注制度を設置す	前 よる企業を	を支援	繡	細か金がる	'	施 れるこ		新たし		評 職会制度	を設置する	後の業を支
E		できる。	退職金掛	金に対し	て補助	力金を交付	すると共済	人会への	単みと	で	きる。i	退職金	掛金に	対して	補助	金を	交付する	と共済入	とへの弾み
c ĸ	合評価	なる。								な。	3 .								
)		前年	度 改 革	• 改	善策	きの 実	施状況	実 施	済	前	年度	细施货	ŧ 評 ſ	西にお	ける	今	後の方	向性	
改	今	¥	a	施	策	評	価	前			細		施		策		評	価	後
革・	後	770	拡 充			2	⑤	7		月		t 3	充						
改		果	現状維持			3	⑥ レ	9		身	I	見状維打	寺					V	
善	の	方	縮小			4	8	100		ブ	フ ፲ 紛		j\						
方	方	同		<u> </u>		•	~	119		卢]								
の方向性	向	<u> </u>	休廃止	(1)	طيين	€ 500	T⊟ J 64 ±	± +-				ト廃」		比	2 111	·	ds	田小作井	+r+ -'
性(性			皆	減 コ ス		ト 現状維持 入 の 方		大						減 ス	縮 ト		現状維持 の 方	拡 大向性
A C T	改革	当補助金	の制度を	各企業へ			行っていく。			当	補助金(り制度	を各企					ていく。	
(Z O H	· 改善策																		

一般会計【茅野市】

事	務事	業名	勤労者生活	資金	融資	事業									事業期間	平成		~		年度	整理番	号	05020225
担	当剖	署	産業経済部			Ī	囱工 調	Į			商業労	宁政係			作成担当	者名	4	Щ	重	喜	連絡	先	434
			プ ラ ン に 5 位 置 づ け	有	政:	策体	系。	施 細 施 事務		04 06 04 03		下 雇 香福祉	用の配字業の	確保と人	きやすく. 材の育成	、訪れ	てみた	:い緑	のまち	づく	IJ		
計	予	算	事 業 名	勤労	分者福	利厚	生等	支援事								会計	コード	001	款	05	項 01	目	01 事業 02
画	事	務事	事業の概要	市は	は預託	金と	して	労者の 7 千万 減を図	円を無	安定 乗利子	を図り で労働:	、福社 金庫(业の向 こ 預 け	上に 質す 、2.5∱	「るため <mark>長</mark> 倍の 1 億 「	野県 ⁹ 750	6働金 0万円	車と協	新調し [・] 資枠と	て融資 : して	【を行う。 融資する	s fi	計入利率を
	現(状ど	と背景うして)	市区	内の勤	労者	の生	舌の安	定のた	<u>:</u> め													
^	目	対	受益者		内の勤																		
P		象	対象 (直接働きかける)					#1 33¢ ** *		0		A == 1	L. W.I. VA	<u> </u>		1							
	的	(E A	意図												れるよう								
L A	手(· 段 どう	・ 方 法 うやって)	長里	野県労	働金	庫に	対し、 [·]	市から	預託	金とし	τ7 <i>=</i>	千万円	を無利子	で預け、	2. 5	5倍の	1. 7	' 5億Ⅰ	円を融	増大と	して	融資する。
			行政活動の	結果	からつ	つく 「	りだす	ものは	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	目標	票値設	定の着	考え方な	: ځ	最終目標値
N	評	活動	勤労者が融	資を	受けれ	hるs	金融機	関		金融	幾関			箇所	市内労	動金庫	の数						1
	価指	指標	融資枠の確	保						融資	枠使用₹	<u>*</u>		%	年度末	融資残	高(円) ÷融	資枠(円) ×	100		*
<u> </u>	標の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目标	票値設	定のを	考え方な	: ك	最終目標値
	成	果指	勤労者が融	資を	受けれ	has	金融機	関		金融	幾関			箇所	市内労	動金庫	の数						1
		標	融資を受け	た勤	労者(の数				融資	牛数			件	当該年	度の融	資件数	ķ					*

		項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	jelji	事業費等	(a)	円	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地 方	債	円					
		その他特定財	源	円	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000
444	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正規 職	員	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 01	0. 01
P.		対象 (者)	数						
		延利用(者)数	(b)						
			(b)	円	-	-	_	_	_
況		受益者負担	額	円	4 043 00	4 050 00	4 055 00	4 004 00	4 005 00
	Г	市民一人当たりのコス		円	1, 247. 00	1, 250. 00	1, 255. 00	1, 261. 00	1, 265. 00
		A W. 144 BB	目標	箇所			<u> </u>	!	
		金融機関	実績		100, 00	100.00	100.00	100.00	100.00
	活		達成率	%	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00
	動	融資枠使用率	目標	%					
	動指	融資作使用华	実績達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標	%0	_	_	_	_	
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0					-	-		1	
O	БŮ	金融機関	目標 実績	箇所	1	+		1	1
	成果	THE MEATING (SA)	達成率	%	100, 00	100, 00	100.00	100.00	100, 00
	指				100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	標	融資件数	目標実績	件	17	5	31	24	24
	示	mays II SA	達成率	%		_		-	
		H29年3月末:融資残高57			融資換175 000 000				
	備	1 0/1/1 · maye///	, 5, 5,		manuscript 170, 000, 000				

備 ※H23年度から指標に追加。最終目標値は、本事業に馴染まないため設定しない。 H23年度の人工の減少は、組織変更があったため。

		業名 勤労者	生活資金	融資事業							事業期		_	~		年度	整理番号	050202	225
担	当部	署 産業総	E済部		商工	果	商	業労政係			作成担	当者名	牛	Щ	I	喜	連絡先	434	ļ
	期			目標				実	績							課	題		
四	第1	長野県労働の生活の3	助金庫と協	調して融	資を行	い、勤労	者融資件数									DA.	KA.		
半期	第 2 期	長野県労働の生活の3	動金庫と協 安定を図る	調して <mark>融</mark> 。	資を行	い、勤労	者融資件数	8件、融資額	1,05	58万1	9								
	第 3 期	長野県労働の生活の9	動金庫と協 安定を図る	調して融 。	資を行	い、勤労	者 融資件数	3件、融資額	396	万円									
٤	第 4 期	長野県労(の生活の9			資を行	い、勤労	融貝什敦	8件、融資額 事 中											
Ø								i	価										
	当生	丰度開始後	、約6ヶ	月が経過	過し、親	斤たに生	じた問題点や	環境の変化		成	拡	充		(2	(5	7	
									,,,	果	現状維	:		C	3	(⑥ レ	9	
管										の士		:1ग						ļ	
									の	方向	縮	小		(4)	(8	10	
理							改革・改善領	耟)	方	性	休 廃	止	1						
-42	平成	230年度も	継続し、予算	算要求を	していく	ζ.			向	-		$\overline{}$	皆	減	縮	小	現状維持	拡	大
																1			
									性	_				ス	٢	技 人	の方	向 性	-
	1	评価年度	2	当年度															
	_	見点	妥	1 下及 当	性		有	効 性			効	率		性		総合	`評価	判	定
		の観点	1 2			判定	1 2		判定	-	2/1	1 3	4	判定	_	小心 二	І БТ ІШ	T'J A	Æ
評		エック	1 2	+ • +		4	1 2	 	4				1	4	-		Α		
価(利用者が何	申びないこ	とから、	、平成2	23年度10	関があること)月に貸付利率 い制度として	. 254	∓度から	預託金	:の減額	を行っ) 	記 と 号 B:事 の C:事	†画どおり事 :が適当 ■業の進め方 ■業規模・グ	に改善が	必要		
C	題														皇	養 D:引	○見直しが必 事業の統合、 付が必要 ○合評価判別 シート整理番	休・廃止 E A	.の検
(с н	D/K	細	ı M	T ,	策	評	価	前			細	施			前	義 D:引 前年度総	≨業の統合、 対が必要 終合評価判別	休・廃止 E A 3号 04030	.の検
н	題	細 勤労者が3	安心して生	 活する!	こは必	評 要とする	価資金を低利で		が動	労者	が安心し	て生活	まするに	は必	前	義 D: 事計 前年度総 前年度評価 評	事業の統合、 対が必要 合評価判別 シート整理番	休・廃止 E A i号 04030	の検 0336
	題総	細	安心して生	 活する!	こは必		-		が動で	労者		て生活	まするに	は必	前	義 D: 事計 前年度総 前年度評価 評	事業の統合、 対が必要 合評価判別 シート整理番	休・廃止 E A i号 04030	の検 0336
н	題 総 合 評	細 勤労者が3	安心して生	 活する!	こは必		-		が動で	労者	が安心し	て生活	まするに	は必	前	義 D: 事計 前年度総 前年度評価 評	事業の統合、 対が必要 合評価判別 シート整理番	休・廃止 E A i号 04030	の検 0336
н ш с	題総合	知 勤労者がす できる金属	安心して生 独機関が必	活するに	<u>には必</u> る。	要とする	資金を低利で	借りること	で	きる	が安心 し 金融機関	.て生活 が必 必	舌するに 更である	は必 6。	事が	義 D:書記 D:書記 D:書記 D:書記 D:書記 D:書記 D:書記 D:書記	事業の統合、 対が必要 合計が必要 シート整理者 価 をを低利で付	休・廃止 E A i号 04030	の検 0336
н ш с к)	能 題 総 合 評 価	知労者が3できる金属前 年 月	安心して生態機関が必要機関が必要を表現である。	活する!)要であ 。 改	cは必る。 る。	の 実 j	資金を低利で	借りること: また 済	で	きる	が安心し 金融機関 重細施	で生活が必要 が必要	舌するに 要である	は必 る。 3 ける	う今	義 D:書記 所年度終 前年度評価 評 する資金 の方	事業の統合、 対が必要 合合評価判別 シート整理者 価 を低利で(休・廃止 日 0403G 後 昔りるこ	の検 0336
н ш с	題 総 合 評	新労者がきる金属 前年原	安心して生 機関が必要機関が必要機関が必要機関が必要性 はいまい おいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい	活する!)要であ 。 改	こは必る等策	の 実 j	施 状 況 価	実施済	ず	前年.	を 無機関 無 施 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無	で生活が必要 策 評・施	舌するに 要である	は必 6。	う今	義 D:書記 D:書記 D:書記 D:書記 D:書記 D:書記 D:書記 D:書記	事業の統合、 対が必要 合計が必要 シート整理者 価 をを低利で付	休・廃止 E A i号 04030	の検 0336
H E C K) 改革・	能 題 総 合 評 価	前年原成里	を 改革 大	活する!)要であ 。 改	まります。 ・	の 実 (評 2)	資金を低利で	実施済 前 ⑦	が	す 年 成	を 無機関 無 施 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無	で生活が必要 が必要	舌するに 要である	は必 る。 3 ける	う今	義 D:書記 所年度終 前年度評価 評 する資金 の方	事業の統合、 対が必要 合合評価判別 シート整理者 価 を低利で(休・廃止 日 0403G 後 昔りるこ	の検 0336
H E C K) 改革・改	\$ 題 総合評価 今後	前年原成里	安心して生 機関が必要機関が必要機関が必要機関が必要性 はいまい おいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい	活する!)要であ 。 改	まります。 ・	の 実 j	施 状 況 価	実施済	ず	前年.	を 無機関 無 施 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無 無	策 施 充	舌するに 要である	は必 る。 3 ける	う今	義 D:書記 所年度終 前年度評価 評 する資金 の方	事業の統合、 対が必要 合合評価判別 シート整理者 価 を低利で(休・廃止 日 0403G 後 昔りるこ	の検 0336
H E C K) 改革·改善	い 題 総合評価 今後の	動労者を動 できる金属 が現るの方	安心して生物機関が必要を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	活する!)要であ 。 改	善 策	の 実 i 評 2 3 3	資金を低利で施 状 況 価⑤ レ	実施済 前 ⑦	で 前	きる 年 成果の方	が安心し 金融機関 毎 細 施 掘 扱 現状維	策 施 充	舌するに 要である	は必 る。 3 ける	う今	義 D:書記 所年度終 前年度評価 評 する資金 の方	事業の統合、 対が必要 合合評価判別 シート整理者 価 を低利で(休・廃止 日 0403G 後 昔りるこ	の検 0336
H E C K) 改革·改善	節題 総合評価 今後の方	動労者を動物である。	を心してが必要を表現である。 また おいま はんしょう はんしょ はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	活するI 多要である ・ 改	善 策	の 実 (評 2)	施状況 価	実施済 前 ③	で 前 !!	きる年の成果の方向	が安心機関 を 無機関 を 無機関 を 無機関 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	また。 策 施 充 持 小	舌するに 要である	は必 る。 3 ける	う今	義 D:書記 所年度終 前年度評価 評 する資金 の方	事業の統合、 対が必要 合合評価判別 シート整理者 価 を低利で(休・廃止 日 0403G 後 昔りるこ	の検 0336
H E C K) 改革·改善	い 題 総合評価 今後の	動労者を動物である。	安心して生物機関が必要を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	活するI ・ 改 ・ 改	善策	<u>の実</u> 評 ② 3	資金を低利で施 状 況 価⑤ レ⑧	寒 施 済 前 ⑦ ⑨ ①	で 前 !!	きる 年 成果の方	が安心し 金融機関 毎 細 施 掘 扱 現状維	また。 策 施 充 持 小	舌するに 要である	は必 3 ける 策	章 前 で で で で で で で で で で	長 日: 事 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	事業の統合、 対が必要 (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	休・廃止 日 0403C 後 昔りるこ	. の検 . 0336 とが
H E C K) 改革・改善の方向性	節題 総合評価 今後の方	動労者を動物である。	を心してが必要を表現である。 また おいま はんしょう はんしょ はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	活するI 多要である ・ 改 ・ 改 「① 皆	善 策 (((((((((((((((((((の実 評 2 3 4	施 状 況 価⑤ レ③ 現状維持	実施済 前 ⑦ ⑨ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で 前 !!	きる年の成果の方向	が安心機関 を 無機関 を 無機関 を 無機関 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	また。 策 施 充 持 小	番するに要である 価 に ま 皆	は必 5。 5 ける 策	(事)	長 日 : 事	事業の統合、 対が必要価判別で シート整理者 価を低利で(向性 レ 現状維持	休・廃止 号 0403C 後 昔りるこ	の検 0336
H E C K) 改革・改善	題総合評価 今後の方向性改革	動で 前 成果の方向性 動に	安機機 度 本 大 支機機 改 充 表 上 大 大 大 上 大 大 大 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 <t< th=""><th>: 活するi ・ 改 : ・ 改 : ・ 改 : ・ で あ : ・ で も :</th><th>には必</th><th>要とする の 実 評 2 3 3 4 4 k a 4 k b d 春 4 k b d 春 4 k b d 春 4 k b d 春 4 k b d 春 4 k b d 6</th><th>資金を低利で施 状 況 価⑤ レ⑧</th><th>寒 施 済 前 ⑦ ⑨ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th><th>で 前 り り り り り り り し い に り り に り り に り り に り り に り り に り に り</th><th>き</th><th>が金融機構施細拡現線体を全域機構を</th><th>(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)<th>舌する で に こ を を の 問 を の あ の に を の あ の に に に の に に に に に に に に に に に に に</th><th>は必 う な 大 で 大 で 大 の の の の の の の の の の の の の</th><th>事 前 </th><th>を 前</th><th>事が合う。 が必評が合う。 シートを低の性性 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、</th><th>休・廃止 A 0403G 後</th><th>の検 (00336 とが 大 も</th></th></t<>	: 活するi ・ 改 : ・ 改 : ・ 改 : ・ で あ : ・ で も :	には必	要とする の 実 評 2 3 3 4 4 k a 4 k b d 春 4 k b d 春 4 k b d 春 4 k b d 春 4 k b d 春 4 k b d 6	資金を低利で施 状 況 価⑤ レ⑧	寒 施 済 前 ⑦ ⑨ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で 前 り り り り り り り し い に り り に り り に り り に り り に り り に り に り	き	が金融機構施細拡現線体を全域機構を	(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)(まず)<th>舌する で に こ を を の 問 を の あ の に を の あ の に に に の に に に に に に に に に に に に に</th><th>は必 う な 大 で 大 で 大 の の の の の の の の の の の の の</th><th>事 前 </th><th>を 前</th><th>事が合う。 が必評が合う。 シートを低の性性 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、</th><th>休・廃止 A 0403G 後</th><th>の検 (00336 とが 大 も</th>	舌する で に こ を を の 問 を の あ の に を の あ の に に に の に に に に に に に に に に に に に	は必 う な 大 で 大 で 大 の の の の の の の の の の の の の	事 前	を 前	事が合う。 が必評が合う。 シートを低の性性 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、	休・廃止 A 0403G 後	の検 (00336 とが 大 も
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIOZ)	● 題総合評価 今後の方向性改革・改善策	動で 前 成果の方向性 動に	Code を Code (1) Code (2) Code (3) Code (4) Code (2) Code (3) Code (4)	: 活するi ・ 改 : ・ 改 : ・ 改 : ・ で あ : ・ で も :	には。	要とする (アン・ファイン) 実 (アン・ファイン)	資金を低利で施 状 畑⑤ ⑥ レ③ 現 状維 持方 この② 表を施すしる必	実施済	で 前 り り り り り り り し い に り り に り り に り り に り り に り り に り に り	き	が金融を担している。 田田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	年 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	舌する で に こ を を の 問 を の あ の に を の あ の に に に の に に に に に に に に に に に に に	は必 う な 大 で 大 で 大 の の の の の の の の の の の の の	事 前	を 前	事が合うとを 向 価 レ	休・廃止 A 0403G 後	.の検

事系	事第	Ě名	茅野市勤労	百百	り会選	E営補	助事	業							事業期間	引 平/	戉	~		年度	整理番号	0502	0226
担:	当 部	署	産業経済部			商	工課				商業的	芳政係			作成担当	4者名	牛	Щ	重	喜	連絡先	43	34
			プランに 位置づけ	有	政策	策 体	系 -	政 施 細 旅 事務:		06 04		市 雇	用の確:事業の	経保と人 充実	きやすく 、材の育成 ・補助事業	,	れてみi	とい縁	のまた	ちづく	Ŋ		
計	予	質	事 業 名	勤学	者福	利厘4	+ 等 3	授事		•	A 21 1	1- 20, 73	1 1 1 4 1	JAEE	111114777		+=-1	÷ 00	款	05	項 01 目	01 事	業 02
画	事者	<u>·</u> 务 事	: 業の概要 phかりやすく)	労働	組合	が未締	組織で	きあっ	たり、							等に勤	務する	従業員	の福	利増進	と経済的	地位の「	〕上を
			と背景うして)																		る傾向に を図って		
(目	対象	受益者 (誰のために) 対象			労者2 労者2		会員															
P	的		(直接働きかける)												立の向上を	をはか	れるよ	うにな	ょる。				
L			・ 方 法 やって)	茅野	市勤	労者]	互助会	計実	施する	各種の	事業	に対し	⊿補助≦	金を交付	寸する。								
			行政活動の約	吉果7	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	5法・	計算式	目标	票値設	定のを	考え方なと	最終目	目標値
	==	活動	会員企業数							企業数	ţ			社	前年度	企業	数						38
Z	指	指標	会員数							会員数	Į.			人	前年度	会員	数						354
)	標の作成	成果指	成 果福利厚生事業	· 作へ(効 の参加		は	何	?	指 主要事	標へ	名の参加	称 『人数	単位人	算出力 前年度			・目标	票値設	定の	考え方なと	最終目	目標値 103
		標																					

	J	頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	leile		(a)	円	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財		円					
	訳	一 般 財	源	円	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000
施	職	正規職	員	人	0. 05	0. 05	0. 05	0. 10	0. 10
	員	嘱託職	員	人					
		臨 時 職	員	人	0. 75	0. 75	0. 75	0. 90	0. 90
状	数	合	計	人	0. 80	0. 80	0. 80	1.00	1. 00
7/		対象 (者)	数	人					
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	18.00	18. 00	18. 00	18. 00	62. 00
			目標	社	40	40	38	38	37
		企業数	実績		38	38	38	37	37
	活		達成率	%	95. 00	95. 00	100.00	97. 37	100.00
	動		目標	人	370	370	349	354	345
	動指	会員数	実績		365	349	354	345	345
D	標		達成率	%	98. 65	94. 32	101. 43	97. 46	100.00
	गर		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	-	_	_	-	_
0	-		目標	人	105	120	122	103	118
	成	主要事業への参加人数	実績		121	122	103	118	118
	果		達成率	%	115. 24	101. 67	84. 43	114. 56	100.00
)	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%	_	-	_	_	-
	備								
	考								
	75								

担					77.		事業		1.			事業期間		_		_	年月	_	里番号	_			
Ë	当部	『署 産	某経済	靴		商」	C課			商業労		1	作成担当	当者名	4	Щ	1	-	連	絡先		434	
	期				. 標						: 績	i						課	題				
		•互助会	ADD.																***				
	第	·理事会	· 評議	こがへ	開催進	: ■備及で	び開催		·互助会F				郵)										
四	1 #8	親睦が	そ行のゴ	三面					·理事会· ·保険金約				田典等	亦什									
	期	•保険金	給付及	び提	隽施設	利用助	成事業		小灰亚	ми	J-1/E1/5/	JE DX 1	1/11 25* 4	X IV									
半	第	·互助会	· M D D	Lin 3	の伊米																		
+	2	・親睦が							·親睦旅行														
	期					利用助	成事業		·保険金約	給付及で	万提携	施設和	利用券等	交付									
期																							
	第	·互助会	のPR	と加入	の促進				·親睦旅行	行の開催	崔(12事	業所	、62名参	加)									
	3	·親睦於							·保険金					交付									
ij	期	・保険金	諸付が	t び 提 打	秀施設	村用助	成事業		・新規事	栗所人会	栗所	1名											
	44				- 1																		
	第 4	・互助会					成事業		·保険金#	₩ ₩7	C+E+#+	bic まひょ	4 111 #4 44	*		-互助:	<u> </u>	n 3 //	7.24				
٢	期	·次年	と呼いる	十画策	を配び	門流場	会等準	備	- 体决亚	א ניו מא	J-10E1351	地政化	alun Street	ניו 🌊		A);	X V) //	uXv	C.JE				
	741																						
Ø										事	中	割	7 個										
••	当年	年度開始	後、糸	96ヶ.	月が経	過し、	新たに	生じた	た問題点~	や環境の	の変化	今	成 技	ኔ <u>፣</u>	充		(2		⑤		7	
												•	果	見状維持	±			3		6	レ	9	
管												後	0)	尤1人不止1	নি		\			•		3	
												の	方	宿 /	<u>ار</u> ،		(4		8		10	
****		新-	年度の	実施計	├画・-	予算要	求事項	〔(改	革・改善	方		ҟ 廃 」	止(i	D									
理									茅野市内	١. ١	<u> </u>	,,,			.	~	, ti	TO .1 Is	Λ.Κ.1 . Τ.	14			
		カ務する を費・運動					地位の	向上	をはかるた	:め、引	向		/	1	背		縮	小		維持	拡	大	
	* *	K其"連品	質のス	人技(作	判)で	9 00.					性				⊐	ス	۲	投ノ	(の	方	向	性	
							1																
	_	評価年月	芟		4年度			_															
	裑	見点		妥	当	,	性		有	効	性			効	率	ή:	生		総	合 評	平価	判	定
評	評価	五の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判员	Ē			_		
AT	チ	ェック					4					4					4				Α		
									いった茅	野市内の	の事業	所等!	に勤務す	る従業	美員の	福利增:	進と能	£ ,	i A :			業を達	態めるこ
L		済的地	位の向	上をは	かる他	の事	集はなし	۱. ****	7年0回	/	1.0	= \	~ 	1#4	ر کے ا		ante La de		- I	とが適		仁沙宝	きが必要
価	課	PKŦ	を1丁い	云貝の	歩人"	'必安。	. 土尹オ	とじめ	る年2回		<u>. ! Z</u>	경소	ルロ帯り	/ ЛК1 ТIа	.、云」	夏 の 親に	Œ ⊂ 11						
	本	報交換	筌の場	として	実施し	. T 1. \	ລ 711. 🍍	жины	72 形行时	囲みれて	う必要	かあ	a .						· , ,				実施主体
	环	報交換	等の場	として	実施し	ている	るか、鬼	ומוע	な旅行計	画を打り	う必要	かあ	6 .						ŧ [の見直	しが必	要	
С	ы	報交換	等の場	として	実施し	ている	อ <i>ก</i> ง №	を 八町	な旅行計!	囲を行り	う必要	かあ	6.						ŧ	の見直	しが必 統合、	要	を止の検
	題	報交換	等の場	として	実施し	こている	ວ ກ` 、 ⊁	亚 八的	な旅行計	■を行`	う必要	かあ	6 .					1	ŧ [の見直 事業の 討が必	しが必 統合、 要	要休・原	
	ы	報交換	等の場	として	実施し	. T () 4	ວ ກາ、 ૠ	6 (J IN)	な旅行計	■を行`	う必要	かあ	5 .					T PARTY	定	の見直 事業の 討が必 総合評	しが必 統合、 要 価判定	要休・原	廃止の検
н	題	報交換	等の場	として		策		評	な旅行計	画を行う		<i>**</i>	6 。	1	施		策	T PARTY	定	の見直 事業の 討が必 総合評	しが必統合、要 価判定 を理番	要休・原	廃止の検 A
н	題	報交換 労働組	細合が未	挽継で	あった	策 :り、¶	10人事第	評しまと	<u>価</u> いった茅!	前野市内(り事業	所労	働組合	が未組	歳であ	ったり	、個.	人事	定義 D: 前年度評 が年度評 評	の見直の事計が合計にある。	しが必要 一種判定 を理番	要休·周 号 04 後	廃止の検 A 1030337
	題総総	報交換 労働組動	細合が未務する	組織で	<u>i</u> あった の福和	策 : り、(間人事業と経済的	評 と と り 地位	価	前野市内(り事業	所労等	働組合に勤務	・ が未組 する従	職であ 業員の	ったり 福利増	、個.	人事	定義 D: 前年度評算 禁主と () 1 () 1 () 1 () 1 () 1 () 1 () 1 ()	の見直の事計が合計にある。	しが必要 一種判定 を理番	要休·周 号 04 後	廃止の検 A 1030337
HE	題総総	報交換 労働組	細合が未務する	組織で	<u>i</u> あった の福和	策 : り、(間人事業と経済的	評 と と り 地位	<u>価</u> いった茅!	前野市内(り事業	所労等	働組合	・ が未組 する従	職であ 業員の	ったり 福利増	、個.	人事	定義 D: 前年度評算 禁主と () 1 () 1 () 1 () 1 () 1 () 1 () 1 ()	の見直の事計が合計にある。	しが必要 一種判定 を理番	要休·周 号 04 後	廃止の検 A 1030337
н	題	報交換 労働組動	細合が未務する	組織で	<u>i</u> あった の福和	策 : り、(間人事業と経済的	評 と と り 地位	<u>価</u> いった茅!	前野市内(り事業	所労等	働組合に勤務	・ が未組 する従	職であ 業員の	ったり 福利増	、個.	人事	定義 D: 前年度評算 禁主と () 1 () 1 () 1 () 1 () 1 () 1 () 1 ()	の見直の事計が合計にある。	しが必要 一種判定 を理番	要休·周 号 04 後	廃止の検 A 1030337
HE	題総総	報交換 労働組動	細合が未務する	組織で	<u>i</u> あった の福和	策 : り、(間人事業と経済的	評 と と り 地位	<u>価</u> いった茅!	前野市内(り事業	所労等	働組合に勤務	・ が未組 する従	職であ 業員の	ったり 福利増	、個.	人事	定義 D: 前年度評算 禁主と () 1 () 1 () 1 () 1 () 1 () 1 () 1 ()	の見直の事計が合計にある。	しが必要 一種判定 を理番	要休·周 号 04 後	廃止の検 A 1030337
НШС	題	報交換 労働組動	細合が未務する	組織で	<u>i</u> あった の福和	策 : り、(間人事業と経済的	評 と と り 地位	<u>価</u> いった茅!	前野市内(り事業	所 労等に	制組合に勤務ないた	が未組織する従	職であ 業員の 事業が	ったり 福利増 果たす	、個. 進と 役割	人経済大	定義 前年度 評 評 評 ※ ※ ※ ※ ※	の事討総 画シー! 価 た上	しが合、 一・整理番 ・茅野市	要休·周 号 04 後	廃止の検 A 1030337
НШС	題総合評	教を換めている。	細合が未務する。	組織業事業	i あった の福和 が果た	策 り、(l) 増進し -す役割	間人事業と経済的	評 美主と位 い。	<u>価</u> いった茅 の向上を(前 野市内の はかる	り事業	所 労等に	働組合に勤務	が未組織する従	職であ 業員の 事業が	ったり 福利増 果たす	、個. 進と 役割	人経済大	定義 前年度 評 評 評 ※ ※ ※ ※ ※	の事討総 画シー! 価 た上	しが合、 一・整理番 ・茅野市	要休·周 号 04 後	廃止の検 A 1030337
H E C K)	題総合評価	教を換めている。	細合が未務する。	組織業事業	i あった の福和 が果た	策 り、(l) 増進し -す役割	間人事第四日 おおお おおお おおお おおま おおま の 写	評 美主と位 い。	<u>価</u> いった茅 の向上を(前 野市内の はかる	丁 の事業 事業は 施済	所 労等に	制組合に勤務ないた	が未組むる従いの本	職であ 業員の 事業が	ったり 福利増 果たす	、個. 進と 役割	人経は、今	定義 前年度 P を P を P を P を P を P を P を P を P を P	の事討総 画シー! 価 た上	し統要 一番	要休・月 04 後 7 内の事	廃止の検 A 1030337
н ш с к)	題総合評価	教交換労働組動い	細がする、度細	組織で 員業 革 旅	i あった の福和 が果た	策 :り、(1) 増進 (2) す役 (2)	間人事第 と経済的 と対は大き	評主位い。	価 いった茅 の向上を 状 況	前野市内のはかる1	の事業は施済	所 労等に	制組合務にないた	が未組むする従うが、本語を表現しています。	職業事 に 施	ったり 福利増 果たす	、個. 推と 役割 ける	人経は、今	定義 前年度 評 評 評 ※ ※ ※ ※ ※	の事討総一の事討総一の向上のの必許の一位では、「何」の向上の向上の向上の向上の向上の向上の向上の一方では、「一方」のでは、「一方」の事ができませば、「一方」の事ができます。	し統要 一番	要休·周 号 04 後	廃止の検 A 1030337
H E C K) 改革・	題総合評価	教会の一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	細合がまる、 度細 拡	がで 組織業事 革施 充	i あった の福和 が果た	策 :り、(1) 増進 (2) す役 (2)	国人事第日 と経済的 の 写 の 図 の 図 の 図 の 図 の 図 の 図 の 図 の 図 の 図	評主位い。	価 いった茅 の向上を 状況 価 ⑤	前野市内のはかる ¹	の事業は施済	所外に	制組動 を が を が を が の の の の の の の の の の の の の	が未組織する従いの 本種 施 毎	職であのの 管理 価値 施	ったり 福利増 果たす	、個. 推と 役割 ける	人経は、今	定義 前年度 P を P を P を P を P を P を P を P を P を P	の事討総一の事討総一の向上のの必許の一位では、「何」の向上の向上の向上の向上の向上の向上の向上の一方では、「一方」のでは、「一方」の事ができませば、「一方」の事ができます。	し統要 一番	要休・月 04 後 7 内の事	廃止の検 A 1030337
H E C K) 改革·改	題総合評価	教交換労働組動い	細がする、度細	がで 組織業事 革施 充	i あった の福和 が果た	策 :り、(1) 増進 (2) す役 (2)	間人事第 と経済的 と対は大き	評主位い。	価 いった茅 の向上を 状 況	野市内のはかる事	の事業は施済	所外等に	制制制動にないた年度根では、	が未組むする従うが、本語を表現しています。	職であのの 管理 価値 施	ったり 福利増 果たす	、個. 推と 役割 ける	人経は、今	定義 前年度 P を P を P を P を P を P を P を P を P を P	の事討総一の事討総一の向上のの必許の一位では、「何」の向上の向上の向上の向上の向上の向上の向上の一方では、「一方」のでは、「一方」の事ができませば、「一方」の事ができます。	し統要 一番	要休・月 04 後 7 内の事	廃止の検 A 1030337
H E C K)改革·改善	題総合評価今後の	報 労等に前 成果の方換	細合がまる、 度細 拡	がで 組織業事 革施 充	i あった の福和 が果た	策 :り、(1) 増進 (2) す役 (2)	国人事第日 と経済的 の 写 の 図 の 図 の 図 の 図 の 図 の 図 の 図 の 図 の 図	評主位い。	価 いった茅 の向上を 状況 価 ⑤	前野市内のはかる ¹	で の事業は 施 済	所外に	制組動 にない 年 様 様果の方	が未 組 がする。本 細 施 頭 広 現 状維 対 大 大 は に に に に に に に に に に に に に	職であのの 管理 価値 施	ったり 福利増 果たす	、個. 推と 役割 ける	人経は、今	定義 前年度 P を P を P を P を P を P を P を P を P を P	の事討総一の事討総一の向上のの必許の一位では、「何」の向上の向上の向上の向上の向上の向上の向上の一方では、「一方」のでは、「一方」の事ができませば、「一方」の事ができます。	し統要 一番	要休・月 04 後 7 内の事	廃止の検 A 1030337
H E C K) 改革・改善の	題 総合評価 今後の方	報 労等に 前 成果の方向 換 組動い	細 未る、 度 細 拡 現 縮	組従本 女 年 焼 た 持 小	5 あった の福和 が果た ・ 改	策 :り、(1) 増進 (2) す役 (2)	国人等計画 という はいまた の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	評主位い。	価 いった茅 の向上を 状 況 ⑤ ⑥ レ	前野市内のはかる1	で の事業は 施 済	所外に	制制動い 年 成果の方向:	が未組 がすめ、 細 版 見 根 1 広 月 宿	職業事 た ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ったり 福利増 果たす	、個. 推と 役割 ける	人経は、今	定義 前年度 P を P を P を P を P を P を P を P を P を P	の事討総一の事討総一の向上のの必許の一位では、「何」の向上の向上の向上の向上の向上の向上の向上の一方では、「一方」のでは、「一方」の事ができませば、「一方」の事ができます。	し統要 一番	要休・月 04 後 7 内の事	廃止の検 A 1030337
H E C K) 改革・改善の方向	題総合評価今後の	報 労等に前 成果の方換	細合務ため、度細拡現状に	組従本 女 年 焼 た 持 小	5 あった の福和 が果た ・ 改 1	策二り、値間増進役割 善策	国人事計算と の 写	学生主と位。 を実施を を実施を という。	価 いった茅 の向上を 状況	前野市内のはかる1 変 前 7 9	で事業は 上海 大学	所外 信	制制動い 年 成果の方向:	が未 組 がする。本 細 施 頭 広 現 状維 対 大 大 は に に に に に に に に に に に に に	職業事 度 た 寺 ハ 上	ったり福利増果たす	進と割ける	人経済大	定義前年度評判主と位。	の事計総 m いの 与	し統要価を理事である。 「「「「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」 「」 「」 「」 「」	要休 :	を止の検 A 1030337 事業所 業は外
H E C K) 改革・改善の	題 総合評価 今後の方	報 労等に 前 成果の方向 換 組動い	細 未る、 度 細 拡 現 縮	組従本 女 年 焼 た 持 小	5 あった の福和 が果た ・ 改	策 : り、値 : す役 : 善策	を表示的 また で で で で で で で で で で で で で で で で で で	学生主と位。 を実施を を使する。	価 いった茅 の向上を 状況 ⑤ ⑥ レ ⑧	前野市内のはかる1 実 前 フ り	か事業は施済	所外 信	制制動い 年 成果の方向:	が未組 がすめ、 細 版 見 根 1 広 月 宿	職業事 度 た 寺 ハ 上	ったり 福利増 果たす 	、進名 (はままれる) はままま (はままままままままままままままままままままままままままままままま	人経は大	定義前年度評判を地位ののでは、	の事計総画いの与見彙の必許「価値な上」の事計総画のの向のの方の向の向の方の向の方の向の方の向の方の向の方の向の方の向の方の向の	し統要価を整理を表するとは、「はなりでは、「はなりでは、「はなりでは、」では、「はなりでは、「はなりでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	要休 2 号 後 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	を止の検 A 10303337 事業所 業は外
H E C K) 改革・改善の方向性(』 題 総合評価 今後の方向性	報 労等に前 成果の方向性換	## 合務た 度 ## 拡 現 縮 休 /	組織業事 革 旅	5 あった が果た ・ 改 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」	第二り、個別では、19世代の一個のでは、19世代の一のでは、19世代のでは、1	を 2 3 4 縮ト	神 主と位。 施 押 小 投	価 いった茅 の向上を 状況 ⑤ ⑥ り の の り り り り り り り り り り り り り り り り	前野市内のはかる1 実 前 フ の 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	か事業は 海ブ	所外	(制制動い) 毎にな 年 成果の方向性 成果の方向性	が未組まする本	職業事 (を) た き い 上 (・) ・	ったり増集をする。 にんおん おんしゅう おんしゅう おんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう おんしゅう はんしゅう はんしゅん はんし はんしゅん はんしゃ	(個と割) は できまれる (本)	人経は、今には、	定義 前年 (年度) (年度) (平度) (平度) (平度) (平度) (平度) (平度) (平度) (平	の事計総 m いの 与	し統要価を選手では、「大きなのでは、」」、「大きなのでは、「大きなのでは、「大きなのでは、「大きなのでは、「大きなのでは、「大きなのでは、「大きなのでは、」」、「大きなのでは、「大きなのでは、「大きなのでは、「大きなのでは、「大きなのでは、「大きなのでは、「大きなのでは、「大きなのでは、」」、「は、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、「ないでは、」」、「ないでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	要休 1 9 04 後 0 4	条止の検A10303337事業所業は外大生
H E C K) 改革・改善の方向性(A	。 題 総合評価 今後の方向性 改	報 労等に前 成果の方向性業。	細 大きの 度 細 拡 現 縮 休 / 続 し 様 様 人 様 様 人 様 様 人 様 様 人 様 様 人 様 人 様 様 人 様 A M A M A M A M A M A M A M A M A M A	組織業事 革 焼 た 持 小 止 へ 行	あったの観示が果た	第二は一番 第二	国人経済される と対は大きの ② ③ ④ 縮ト厚生	弾 ・	価 いった茅 の向上を 状 価 ⑤ ⑥ ⑧ 現状維力 こと	前 野市内の はかる 実 前 ⑦ ⑨ ・ ⑩ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で事業は 済	所外	(制制) (おおり) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語	が未組織する本語を表現を表現して発見を表現して発見して発見して発見して発見して発見して発見して発見して発見して発見して発見	職業事 年 年 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ったり増集 たす お こ お こ ま ま る の こ ま ま る の こ ま ま ま る の こ ま ま ま る の こ ま ま ま ま ま る の こ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	(個と割) は *** (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名)	人経は、今には、一種の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	定義前年産業的き後野主地ののクラスを発表している。	の事計総画いのち見な必許し価を上	し統要価整字を生し、維持方いの、定番が合いでは、一種を表を生し、	要休息号の後の事	を止の検 A 10303337 事業所外 大性 性があ
H E C K) 改革・改善の方向性(題 総合評価 今後の方向性 改革	報 労等に前 成果の方向性章 c 内換 組動い	細がすめ、度細拡現縮休焼・、続く、	組従本 対対の対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対	・改・改・なりを表しています。	第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	国人経済される と対は大きの ② ③ ④ 縮ト厚生	弾 ・	価 いった茅 の向上を 状況 ⑤ ⑥ り の の り り り り り り り り り り り り り り り り	前 野市内の はかる 実 前 ⑦ ⑨ ・ ⑩ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で事業は 済	所外 有	働にな	が未組 がする、本 施 カ ・施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職業事 を を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	っ福果 に ちゅうしゅ おっこう おっこう おっこう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅう	(値と割) は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	人経は、今には、一種の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	定義前年産業的き後野主地ののクラスを発表している。	の事計総画いのち見な必許し価を上	し統要価整字を生し、維持方いの、定番が合いでは、一種を表を生し、	要休息号の後の事	を止の検 A 10303337 事業所外 大性 性があ
H E C K) 改革・改善の方向性(AC	。 題 総合評価 今後の方向性 改革・	報 労等に前 成果の方向性業。	細がすめ、度細拡現縮休焼・、続く、	組従本 対対の対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対	・改・改・なりを表しています。	第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	国人経済される と対は大きの ② ③ ④ 縮ト厚生	弾 ・	価 いった茅 の向上を 状 価 ⑤ ⑥ ⑧ 現状維力 こと	前 野市内の はかる 実 前 ⑦ ⑨ ・ ⑩ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で事業は 済	所外 有	(制制) (おおり) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語	が未組 がする、本 施 カ ・施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職業事 を を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	っ福果 に ちゅうしゅ おっこう おっこう おっこう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅう	(値と割) は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	人経は、今には、一種の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	定義前年産業的き後野主地ののクラスを発表している。	の事計総画いのち見な必許し価を上	し統要価整字を生し、維持方いの、定番が合いでは、一種を表を生し、	要休息号の後の事	を止の検 A 10303337 事業所外 大性 性があ
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	。 題 総合評価 今後の方向性 改革・改	報 労等に前 成果の方向性章 c 内換 組動い	細がすめ、度細拡現縮休焼・、続く、	組従本 対対の対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対	・改・改・なりを表しています。	第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	国人経済される と対は大きの ② ③ ④ 縮ト厚生	弾 ・	価 いった茅 の向上を 状 価 ⑤ ⑥ ⑧ 現状維力 こと	前 野市内の はかる 実 前 ⑦ ⑨ ・ ⑩ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で事業は 済	所外 有	働にな	が未組 がする、本 施 カ ・施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職業事 を を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	っ福果 に ちゅうしゅ おっこう おっこう おっこう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅう	(値と割) は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	人経は、今には、一種の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	定義前年産業的き後野主地ののクラスを発表している。	の事計総画いのち見な必許し価を上	し統要価整字を生し、維持方いの、定番が合いでは、一種を表を生し、	要休息号の後の事	を止の検 A 10303337 事業所外 大性 性があ
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	』 題 │総合評価 │今後の方向性 │改革・改善	報 労等に前 成果の方向性章 c 内換 組動い	細がすめ、度細拡現縮休焼・、続く、	組従本 対対の対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対	・改・改・なりを表しています。	第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	国人経済される と対は大きの ② ③ ④ 縮ト厚生	弾 ・	価 いった茅 の向上を 状 価 ⑤ ⑥ ⑧ 現状維力 こと	前 野市内の はかる 実 前 ⑦ ⑨ ・ ⑩ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で事業は 済	所外 有	働にな	が未組 がする、本 施 カ ・施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職業事 を を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	っ福果 に ちゅうしゅ おっこう おっこう おっこう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅう	(値と割) は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	人経は、今には、一種の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	定義前年産業的き後野主地ののクラスを発表している。	の事計総画いのち見な必許し価を上	し統要価整字を生し、維持方いの、定番が合いでは、一種を表を生し、	要休息号の後の事	を止の検 A 10303337 事業所外 大性 性があ
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	。 題 総合評価 今後の方向性 改革・改	報 労等に前 成果の方向性章 c 内換 組動い	細がすめ、度細拡現縮休焼・、続く、	組従本 対対の対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対	・改・改・なりを表しています。	第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	国人経済される と対は大きの ② ③ ④ 縮ト厚生	弾 ・	価 いった茅 の向上を 状 価 ⑤ ⑥ ⑧ 現状維力 こと	前 野市内の はかる 実 前 ⑦ ⑨ ・ ⑩ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で事業は 済	所外 有	働にな	が未組 がする、本 施 カ ・施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職業事 を を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	っ福果 に ちゅうしゅ おっこう おっこう はっこう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅう	(値と割) は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	人経は、今には、一種の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	定義前年産業的き後野主地ののクラスを発表している。	の事計総画いのち見な必許し価を上	し統要価整字を生し、維持方いの、定番が合いでは、一種を表を生し、	要休息号の後の事	を止の検 A 10303337 事業所外 大性 性があ

			季節的労務	者特!	別傷害	子共 涉	事業								事業期間	目 平成	ζ.	~		年度	整理	基番号	05020227
担	当 部	署	産業経済部			育	打工課				商業労	政係			作成担当	当者名	牛	Щ	I	喜	連	絡先	434
			プランに 位置づけ	有	政贸	策 体	系	政 施 細 施 事務事		06	第4章 第6節 労働ナ	ī <u>F</u>		保と人	きやすく 材の育成		いてみれ	とい縁	kのま [†]	ちづく	Ŋ		
計	予	算	事 業 名	勤学	者福:	利厚	生等:	支援事業		l						会計		÷ 00	1 款	05	項 0	1 目	01 事業 02
画	Ť		業の概要	農 合、 (证 92,	期等その用の	を利金 掛金 脚 以下	用して の一部) ①取 であっ	で、短期を助用	朝的に 或する 内に住	。 所を有	する	者で≛	上節的 党	労務者と	: して就	労しよ	うとす	るもの	Eめる カ ②	特別領前年の	害共	済に加 税年報	入した場 (の合計が)ことが確
			と 背 景うして)	農業	きの傍	6 、ا	農閑茅	明等を利	削用し	て短其	別的にス	本来の	の職業は	以外の職	機業に従	事する	労務者	の福祉	业向上				
^	目	対	受 益 者 (誰のために)					る農閑類															
P		象	対象 (直接働きかける)								<i>>1</i> ←∓1	ST H J Z	7 137 13										
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	農隊	期の	李節	的劳制	务者の 神	温祉 同	£													
L			・ 方 法 やって)	市内	に住	所を	有する	る農業	者に対	し、著	野市	季節的	勺労務 者	当特別 億	『害共済 》	加入掛	金補助	金交付	寸要綱	に基っ	がき補	助金を	交付する。
Α			 行政活動の約	注里·	からっ	7 C L	しだす	±. (n)+	何?	指	標	名	称	単位	1 1 1 1 1 1 1	54.1	計質式	· B1	堙値契	定の	さっ ナ	ナンド	最終目標値
		活	補助金制度の				1-7	0 0718			」 上供回数		191			の情報			IA IIE IX	. , _ 0) -	·	, o C	2
N	評価指	動指標																					
~	標の		成 果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	竹山コ	- :±.=	计質 🛨	. P t	画体部	:中の :	坐って	= +: Li	最終目標値
	作 成	成 果	季節的労務								^存 交付≰		4 /J/	中 12	- 昇山/	」 本 ・ に	11 昇 八	- H1	示胆故	たの	ちんこ	145	取於日保順
		指標	AI H 1 / J 171	H 07		- п	, pa 30	•		1.10 +67 TIT		1 3%											<i>R</i>

	J	頁	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
	1	事業費等	(a)	円					12, 000
	財	国庫支出	金	円					·
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一般財	源	円					12, 000
施	職	正 規 職	員	人					
		嘱託職	員	人					
	員	臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人					
衣	5	対象 (者)	数						
	3		(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況	-	受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス	٠ ١	円	_	_	_	_	0.00
			目標	•	2	2	2	2	2
		情報提供回数	実績	Ш	1	1	1	1	2
	活		達成率	%	50. 00	50. 00	50.00	50.00	100. 00
	動		目標	-					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	尓		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	件					
	成	補助金交付件数	実績						
	果指		達成率	%	_	_	_	_	_
)	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_		_	-
	備	※最終目標数値は、この	事業に	馴染る	Fないため設定しない	\ ₀			
	考								

		名季節			別傷害					- 224 TL PE			F業期間 5 世 日 火	-		~	年		E理番号		20227
担当	部	者	経済部	Þ		商コ	- 眯		間景	学政係		1	作成担当	百名	<u></u>	Щ	里 書		連絡先		434
Į.	明			E	標						実 績						Ē.	果 題			
Э	#																				
四																					
Į,	玥																				
	_																				
半分																					
其																					
期	V.																				
角																					
3																					
ご其	玥																				
角	É																				
ا ع																					
其	钥																				
									4	中	評	価									
O E	当年	度開始很	发、	16 7 F	目が経	過し.	新たに	主じた問題	•		. 1	成加				2		5		7	
	- '				J. 7 114						7	果				j				ļ	
管												のり	1状維持	F		3		6	レ	9	
										の	方紹	诸 小	`		4		8		10		
		新年	度の	実施計	画•-	予算要	求事項	(改革・i	改善策)	方	P]	ト 廃 止	: (1)							
理平	花3	30年度も									т <u>н</u>	· /天 11						115 244 14	14		
										向		/	뒅		戓 統			状維持	拡	大	
											性	/			⊐ :	スト	·投	入(の方	向	性
	-ar			N.	/ / etc																
		価年度			年度		.1				,		41		Lat		40	^	I	dut	
==	視	****	4 1	妥	当		生	有	菜		生		効	率	性		総	合	評価	判	定
F# -		の観点	1	2	3	4	判定	1 2	2 3		判定	1	2	3	4	判定	4		В		
-		ック				レ	3			レ	3				レ	3	<u> </u>	=1		- MIL -1- N	4 11 7 -
	有	前助対象	者の3	を付漏	れのな	いよう	うに、JaBがか	Aに周知し いことから	していく	必要がる	ある。 一生 た t	金融して	11 \ Z #X1	亜ポカ	. Z		記 A		どおり事 適当	業を追	≣めるこ
価意		P-24-02-4-1	лъ) - <u>101 - 7</u>		·&_1	17117010	0.000	J. 1 77		J 47 C 1	×61 C C	. 0 - \ 923	3 C 13 · 0.				: 事業	の進め方		
ш	~																の C 定		規模・内 直しが必		E 他王体
																		: 事業	の統合、		を止の検
是	良																前年月	討が 奪総合	必安 評価判定	2	С
С																			- ト整理番		_
н		ŕ	H	施	į	策	割	· 6	6	前		細		施	角	ŧ	評		西	後	
糸	忩 〕	丘年補助	実績!	まない	が、農	業を		厳しい環境			多者 近	年補助	実績はな	:いが.	農業	をとり	まく厳し	しい環	境から	₽節的	
	Į U	リ価化円	エを	ス抜り	るにめ	1-04		続は必要。			J の	福祉向。	上を支援	する	ために:						
C	î <u>/</u>	への一部	の共和	作加人 事業	対象有の継続	に限り	されてい	るため事業 く必要がも	Fの効果 ある。	te J A	と協しA 議	の一部の	ル共済ル 中で、事	人対	駅石 に 継続を	艮りれ 金計し	ているだ	この争 込要が	来の効果 ある。	そぞり	A Z III
· ·					112101										12450 C 1		••••				
K																					
1	# L																				
		前年	度 改	革	· 改	善策	の実	施状法	兄		前	「年 度 i	細 施 策	評価	にお	ける	今後の	方向	性		
改革	4	#	Œ	施	į	策	副	F 個	5	前		細	l	施	笋	ŧ	評		価	後	
革		成	拡	充			2	⑤		7	J.	龙	広 充								
改 改		果	現状約	#			3	6	レ	9		Į	見状維持						レ		
改善	_	÷										········									
の フ	5	カ 向	縮	小			4	8		10		う 有	宿 小								
の方向	۱,	性	休 廃	止	1						1	生に	木 廃 止								
Ad.	31 I			_	皆	減	縮	小 現物	 大維持	拡	大			-	当 派	或 紹	計 小	現	状維持	拡	大
1-					白	腴	세비	-1.													4
	±	_				コス	· ト 排	ひ 入 の		向 性						ス				向!	
A	生女	- 単葉の効		JAŁ		コス	· ト 排						果をJA	と協							
A d	生女	_		JAŁ		コス	· ト 排	ひ 入 の				業の効果がある		と協							
A C I	生 女 章 •	- 単葉の効		JAŁ		コス	· ト 排	ひ 入の						と協							
A C T I O	生 女 基 ・ 女	- 単葉の効		JAŁ		コス	· ト 排	ひ 入の						と協							
A C T I O N	生 女革 女 女	- 単葉の効		JAŁ		コス	· ト 排	ひ 入の						と協							
A C T I O	生 女革 女 女	- 単葉の効		JAŁ		コス	· ト 排	ひ 入の						と協							